

# 事 業 概 要

令和元年度



長 野 県

上田食肉衛生検査所

松本食肉衛生検査所

長野食肉衛生検査所

# 目 次

## 第1章 総説

I 食肉衛生検査所の沿革	1
II 食肉衛生検査所の概要	2
1 組織機構	2
2 施設の設置状況等	2
3 管轄と畜場・食鳥処理場等	3
(1)管轄区域・と畜場・食鳥処理場	
(2)配置図	
(3)と畜場開場日	
4 職員構成	5
5 業務・事務	5
6 と畜等検査手数料	7
7 と畜検査業務のフローシート	8
8 検査所別詳細（平面図・案内図・主要検査備品）	9
(1)上田食肉衛生検査所	
(2)松本食肉衛生検査所	
(3)長野食肉衛生検査所	

## 第2章 食肉検査統計

### I 全県統計

第1表 と畜検査頭数（畜種・月・検査所別）	15
第2表 獣畜のとさつ・解体禁止又は廃棄した件数（畜種・原因・処分・検査所別）	16
第3表 牛の主たる原因別一部廃棄処分の内訳（検査所別）	17
第4表 豚の主たる原因別一部廃棄処分の内訳（検査所別）	18
第5表 精密検査実施数（畜種・検査項目・疾病・検査所別）	19
第6表 動物用医薬品等の残留検査実施状況（畜種・検査項目・検査所別）	21
第7表 時間外と畜検査頭数（畜種・月・検査所別）	22
第8表 伝達性海綿状脳症検査実施状況	23
第9表 動物由来感染症実態調査実施状況	24

### II 食肉衛生検査所別統計

#### 1 上田食肉衛生検査所

第1表 と畜検査頭数（畜種・月・と畜場別）	25
第2表 獣畜のとさつ・解体禁止又は廃棄した件数（畜種・原因・処分別）	26
第3表 牛の主たる原因別一部廃棄処分の内訳	27
第4表 豚の主たる原因別一部廃棄処分の内訳	28
第5表 精密検査実施数（畜種・検査項目・疾病別）	29
第6表 動物用医薬品等の残留検査実施状況（畜種・検査項目別）	31
第7表 時間外と畜検査頭数（畜種・月別）	32
第8表 伝達性海綿状脳症検査実施状況	33
第9表 動物由来感染症実態調査実施状況	34

## 2 松本食肉衛生検査所

第1表	と畜検査頭数（畜種・月・と畜場別）	35
第2表	獣畜のとさつ禁止又は廃棄した件数（畜種・原因・処分別）	36
第3表	牛の主たる原因別一部廃棄処分の内訳	37
第4表	豚の主たる原因別一部廃棄処分の内訳	38
第5表	精密検査実施数（畜種・検査項目・疾病別）	39
第6表	動物用医薬品等の残留検査実施状況（畜種・検査項目別）	41
第7表	時間外と畜検査頭数（畜種・月別）	42
第8表	伝達性海綿状脳症検査実施状況	43
第9表	動物由来感染症実態調査実施状況	44

## 3 長野食肉衛生検査所

第1表	と畜検査頭数（畜種・月・と畜場別）	45
第2表	獣畜のとさつ禁止又は廃棄した件数（畜種・原因・処分別）	46
第3表	牛の主たる原因別一部廃棄処分の内訳	47
第4表	豚の主たる原因別一部廃棄処分の内訳	48
第5表	精密検査実施数（畜種・検査項目・疾病別）	49
第6表	動物用医薬品等の残留検査実施状況（畜種・検査項目別）	51
第7表	時間外と畜検査頭数（畜種・月別）	52
第8表	伝達性海綿状脳症検査実施状況	53
第9表	動物由来感染症実態調査実施状況	54

## 第3章 食鳥検査統計

第1表	認定小規模食鳥処理場確認状況（月・検査所別）	55
-----	------------------------	----

## 第4章 リスクコミュニケーション事業

第1表	リスクコミュニケーション事業実施状況	57
-----	--------------------	----

## 第5章 調査研究業績

・管内と畜場における牛枝肉への過酢酸製剤噴霧の効果検証	58
・と畜場で発生した豚コレラへの対応について	63
・牛枝肉の切除法による腸内細菌科菌群検査について	67

## 第6章 参考資料

I	と畜検査頭数の推移	70
II	廃棄処分頭数の推移	73
III	長野県のと畜場統廃合整備のあゆみ	75

# 第 1 章 総 説

## I 食肉衛生検査所の沿革

食肉衛生行政の発足は、明治4年屠牛取締法を定める大蔵省布達38号によって始まり、明治22年6月に屠獣場取締規則の施行によって警察の行政下に置かれた。その後、明治39年4月、屠場法が制定公布されて以来、と畜検査の具体的な取締りが行われるようになり、さらに大正2年5月には「と畜検査心得」が示され実践的な現場検査はこれに基づき実施されてきた。

また、昭和22年9月からは新憲法の基本理念に基づいて衛生行政機構の改善と強化が図られ、その一環として保健所の行政組織下に置かれた。

昭和28年には社会情勢に対応するため法律の全面改正により、と畜場法が制定公布され今日に至っている。

昭和30～40年代、食肉および食肉製品の急激な需要増加に伴って畜産経営の形態も多頭飼育に移行し、家畜疾病の様相も多岐にわたってきた。これら疾病に対する予防や治療の技術も昨今はめざましい進歩を遂げ、抗生物質・合成抗菌剤等の動物医薬品などの使用も目立ってきたことから、これらに対応する食肉検査には、新しい知識と高度な科学技術が要求され、その専門の検査機関として全国的に食肉衛生検査所が設立される趨勢となった。

本県においては、と畜場統合整備計画が昭和42年に制定され、県議会をはじめ関係市町村、業界団体等のご理解のもとに推進し、併せて県政発展計画の一環として食肉衛生検査所の設置計画を樹立し、昭和47年4月に松本に同検査所が設置され、その後、上田・飯田・長野とそれぞれ同検査所が設置された。

### 県内検査所の主な沿革

昭和47年4月	松本食肉衛生検査所を開所
昭和49年4月	上田食肉衛生検査所を開所
昭和52年4月	飯田食肉衛生検査所を開所
昭和55年4月	長野食肉衛生検査所を開所
平成4年4月	上田食肉衛生検査所を課制とし、食鳥検査を開始
平成22年9月	上田食肉衛生検査所の食鳥検査を終了
平成27年3月	(株)長野県食肉公社飯田支社の閉鎖に伴い、飯田食肉衛生検査所を閉所

## II 食肉衛生検査所の概要

### 1 組織機構 (令和2年4月3日現在)

(長野県組織規則(昭和44年3月31日規則第16号) 第2~3条、第26条、第145~146条)



### 2 施設の設置状況等 (令和元年度)

検査所名	設置場所	設置年月日	敷地面積	建物総床面積	電話番号/F a x
上田食肉 衛生検査所	上田市常磐城3-3-59	昭和49年 4月1日	m <sup>2</sup> 2,212.24	m <sup>2</sup> 655.53	0268-24-7521 0268-28-0304
松本食肉 衛生検査所	松本市大字島内9839	昭和47年 4月1日	m <sup>2</sup> 745.40	m <sup>2</sup> 511.77	0263-47-0470 0263-40-1523
長野食肉 衛生検査所	長野市差出南3-2-29	昭和55年 4月1日	m <sup>2</sup> 991.0	m <sup>2</sup> 468.54	026-227-6209 026-291-6300

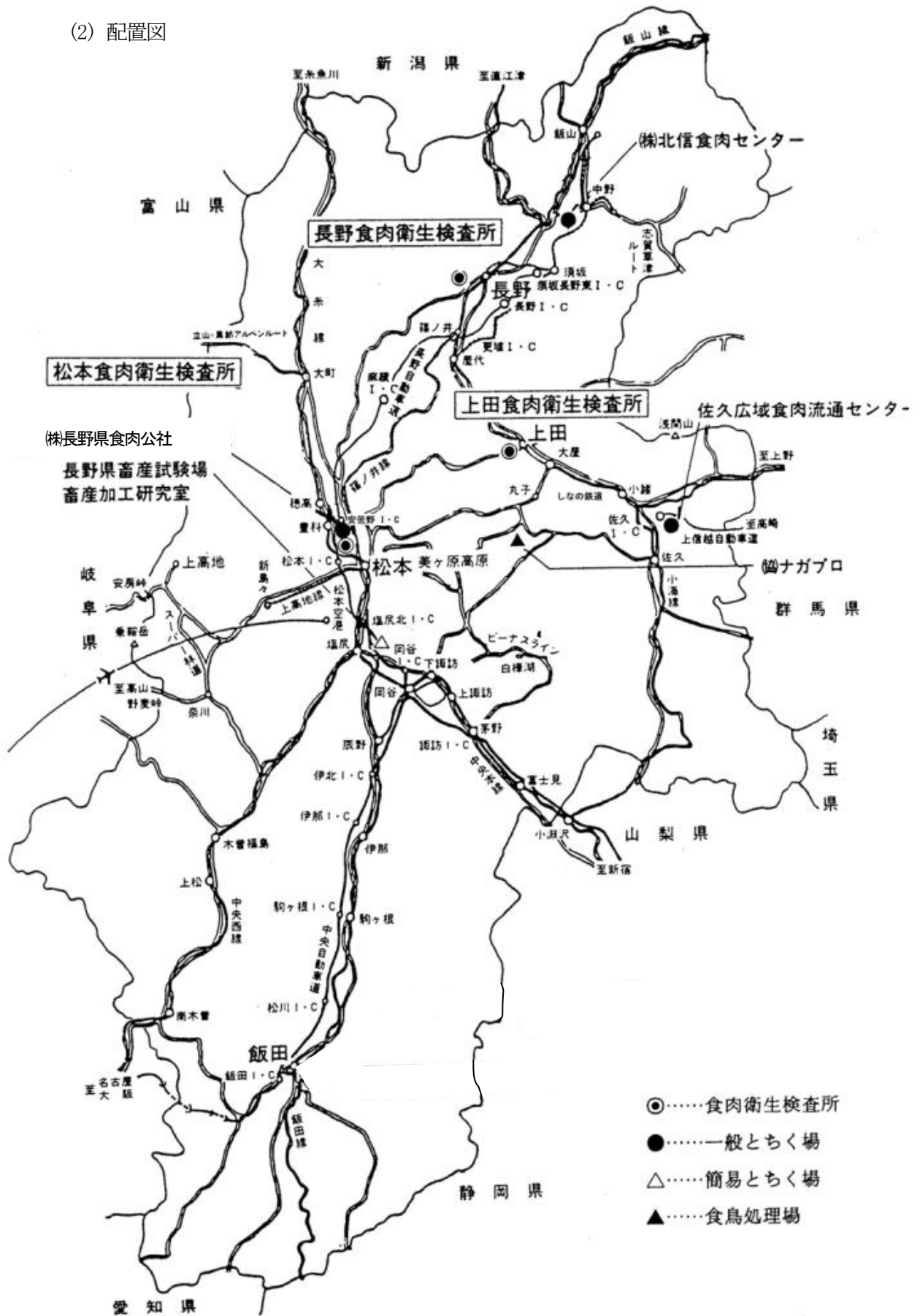
### 3 管轄と畜場・食鳥処理場等（令和元年度）

#### (1) 管轄区域・と畜場・食鳥処理場

検査所名	管轄区域	と畜場・食鳥処理場名	住所・電話番号
上田食肉 衛生検査所	上田市・小諸市・佐久市・ 東御市・南佐久郡・北佐久 郡・小県郡	佐久広域食肉流通センター	佐久市大字長土呂字隠 1 - 1 0267 - 68 - 1007
		〔事業協同組合 ナガプロ〕 平成 22 年 9 月 1 日以降、休止。	〔上田市下武石 63 - 2〕 0268 - 85 - 2229
松本食肉 衛生検査所	松本市・岡谷市・飯田市・ 諏訪市・伊那市・駒ヶ根 市・大町市・茅野市・塩尻 市・安曇野市・諏訪郡・上 伊那郡・下伊那郡・木曾 郡・東筑摩郡・北安曇郡	(株)長野県食肉公社	松本市大字島内 9842 0263 - 47 - 1744
		長野県畜産試験場 畜産加工研究室	塩尻市大字片丘 10931 - 1 0263 - 52 - 1188
長野食肉 衛生検査所	須坂市・中野市・飯山市・ 千曲市・埴科郡・上高井 郡・下高井郡・上水内郡・ 下水内郡	(株)北信食肉センター	中野市大字草間 461 - 1 0269 - 22 - 3250

(管轄区域) 長野県組織規則 第 146 条関係 別表第 15

(2) 配置図





## (3) と畜場開場日

(令和元年度)

と畜場名等	曜日							年間開場 日数	備考
	月	火	水	木	金	土			
佐久広域食肉流通センター	○	○	○	○	○※	—	246	—	
(株)長野県食肉公社	○	○	○	○	○	—	238	◎	
長野県畜産試験場 畜産加工研究室	不 定 期							0	—
(株)北信食肉センター	○	○	○	○	○	—	243	—	

(注) ○印=開場日 ◎印=時間外受付 ※印=病畜のみ受け

## 4 職員構成

(令和2年4月1日現在)

検査所名	総人数	所長	次長 (出納員)	食肉衛生 専門員	主査 事務	主査 獣医師	主任 獣医師	獣医師	会計年度任用職員		
									食肉衛生 検査員	行政 事務員	と畜検査 補助員
上田食肉 衛生検査所	16	1	1	0	0	0	4	1	1	1	7
松本食肉 衛生検査所	23 (3)	1	1	1	1 (1)	1 (1)	3	5 (1)	1	1	8
長野食肉 衛生検査所	14	1	1	1	0	0	2	1	1	1	6

(注) ( )内は松本市研修派遣職員数

## 5 業務・事務

## (1) 業務

食肉衛生検査所は、公衆衛生の向上及び増進を図るため、次の各号に掲げる業務を行うところとする。(長野県組織規則第145条)

- ア と畜検査及びと畜場の指導に関すること。
- イ 食鳥検査及び食鳥処理場等の指導に関すること。
- ウ 輸入食肉の検査に関すること。
- エ 獣医衛生の検査に関すること。

(2) 食肉衛生検査所長に委任された事務処理事項（事務処理規則別表第2抜粋）

○ 庶務に関すること。

- ア 所掌に係わる予算執行
- イ 庁舎その他の行政財産の管理及び庁中取締り
- ウ 物品及び借受不動産の管理

○ と畜に関する事項

ア と畜場法（昭和28年法律第114号）の規定に基づく次の事項

- (ア) 第4条第1項の規定によると畜場の設置の許可
- (イ) 第4条第3項の規定による構造設備等の変更の届出の受理
- (ウ) 第5条第2項の規定による獣畜の種類及び頭数の制限
- (エ) 第7条第6項(第10条第2項において準用する場合を含む。)の規定による衛生管理責任者及び作業衛生責任者の届出の受理
- (オ) 第12条第1項の規定によると畜場の使用料及びとさつ解体料の額の許可
- (カ) 第13条第1項第1号の規定によるとさつの届出の受理
- (キ) 第13条第3項の規定による取扱方法及び処理方法の指示
- (ク) 第14条第1項から第3項(第4項において準用する場合を含む。)までの規定による検査
- (ケ) 第14条第4項の規定による検査を要しないものの認定
- (コ) 第16条の規定によるとさつ解体の禁止等
- (サ) 第17条第1項の規定による報告の聴取等
- (シ) 第18条第1項の規定による許可の取消等
- (ス) 第18条第2項の規定による業務の停止の命令又はとさつ若しくは解体の禁止

イ と畜場法施行令の規定に基づく次の事項

- (ア) 第4条第2項の規定によると畜場以外でのとさつの許可
- (イ) 第5条第1項第1号から第3号までの規定による許可
- (ウ) 第7条の規定による申請書の受理

○ 食鳥に関する事項

ア 食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律(平成2年法律第70号)の規定に基づく次の事項

- (ア) 第3条の規定による食鳥処理の事業の許可
- (イ) 第6条第1項の規定による構造又は設備の変更の許可
- (ウ) 第6条第3項の規定による変更の届出の受理
- (エ) 第7条第2項の規定による地位の継承の届出の受理
- (オ) 第8条又は第9条の規定による許可の取消等
- (カ) 第12条第6項の規定による食鳥処理衛生管理者の届出の受理

- (キ) 第13条の規定による解任命令
- (ク) 第14条の規定による食鳥処理場の休廃止等の届出の受理
- (ケ) 第15条第1項から第3項までの規定による検査
- (コ) 第16条第1項の規定による確認規程の認定
- (サ) 第16条第2項の規定による変更の認定
- (シ) 第16条第6項の規定による解任命令
- (ス) 第16条第7項の規定による報告の徴収
- (セ) 第16条第8項の規定による廃止の届出の受理
- (ソ) 第16条第9項の規定による指導及び助言
- (タ) 第20条の規定による廃止等の措置
- (チ) 第37条の規定による報告の徴収
- (ツ) 第38条第1項の規定による立ち入り検査及び収去

イ 食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律施行規則(平成2年厚生省令第40号) (ア)

第32条の規定による届出食肉販売業者の届出の受理

○ 食品衛生に関する事項

食品衛生法の規定に基づく次の事項(と畜場及び食鳥処理場内の食肉に係るものに限る。)

ア 第28条第1項の規定による報告の徴収並びに臨検検査及び物件の収去

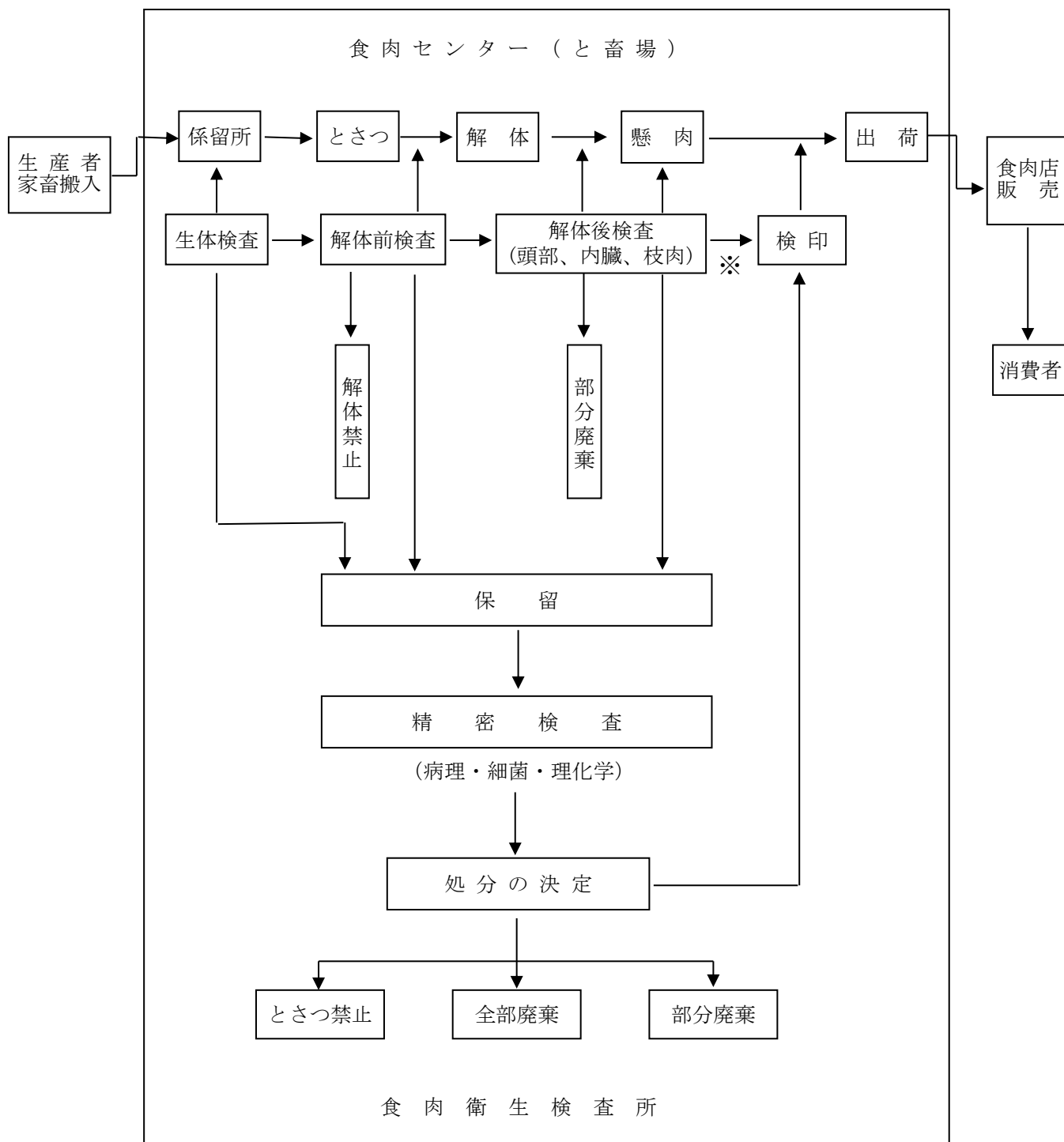
イ 第54条の規定による廃棄処分

6 と畜等検査手数料

(令和2年4月1日現在)

牛・馬	豚	とく・生後1年未満の馬	生後1年以上のめん羊・山羊	生後1年未満のめん羊・山羊	食鳥
700円	310円	300円	150円	80円	5円

## 7 と畜検査業務フローシート



※牛については平成13年10月18日～平成25年6月30日までBSEスクリーニング検査を全頭実施。

平成25年7月1日から48か月齢超の牛についてBSEスクリーニング検査を実施。

平成29年4月1日からは、健康牛の検査を原則廃止とし、24か月齢以上の牛のうち、類症鑑別の観点から、と畜検査員が必要と判断したものについてスクリーニング検査を実施。

※めん山羊については平成17年10月1日～平成25年6月30日までTSEスクリーニング検査を全頭実施。

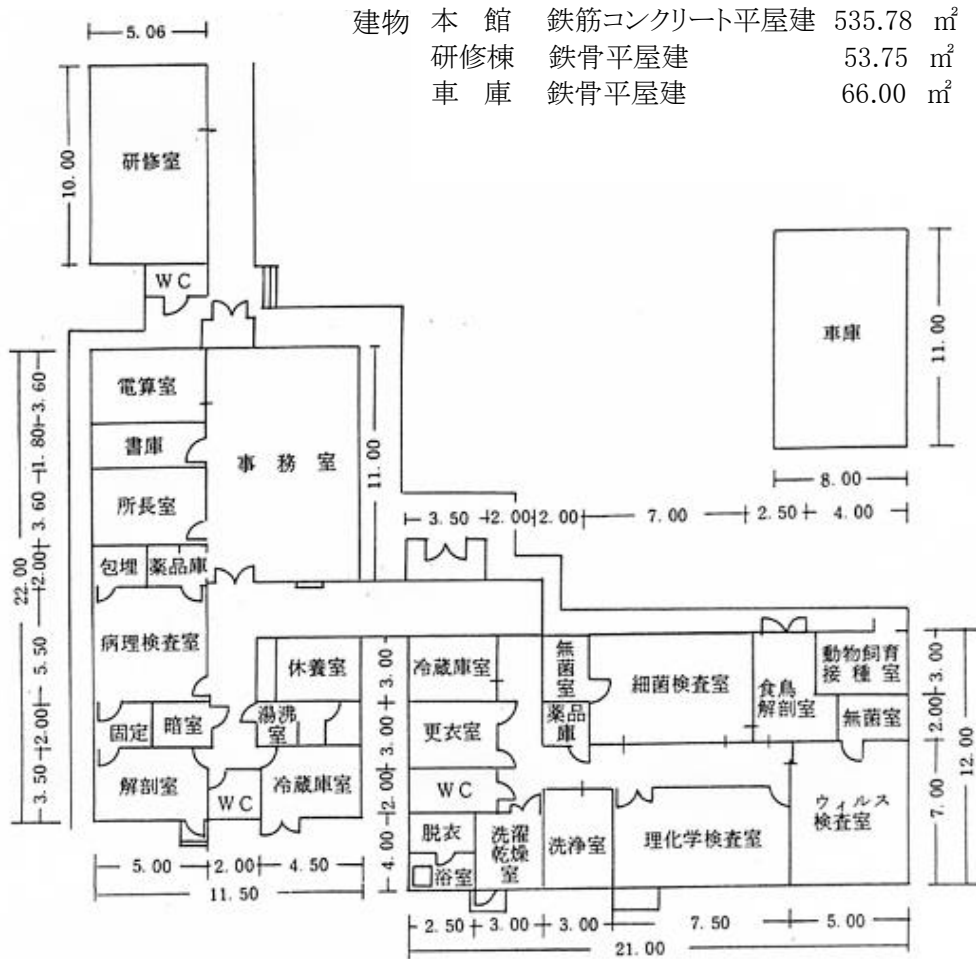
平成25年7月1日から12か月齢以上のめん山羊についてTSEスクリーニング検査を実施。

平成28年6月1日から月齢にかかわらず、特定の臨床症状を呈するものについて検査を実施。

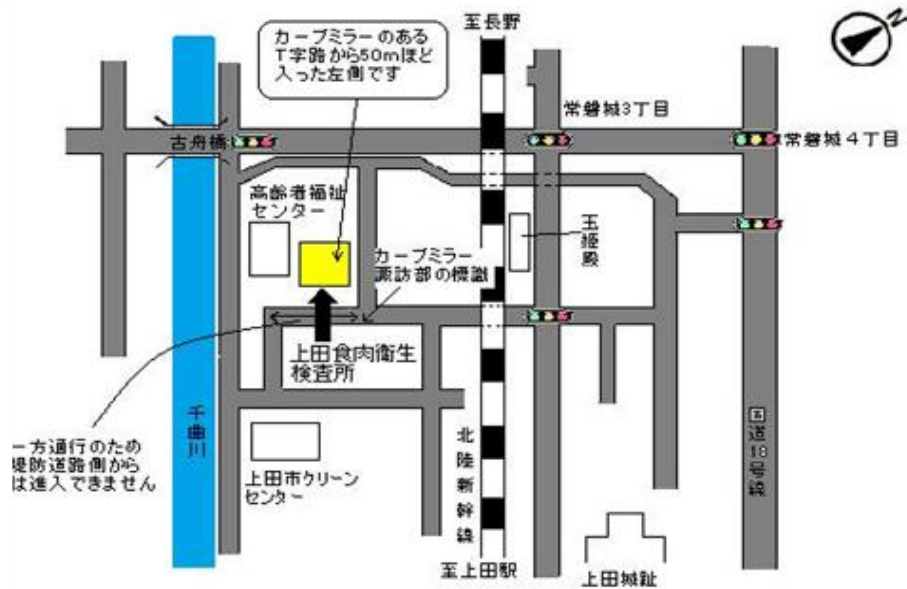
8 検査所別詳細(平面図・案内図・検査備品)

(1) 上田食肉衛生検査所

1) 平面図



2) 付近見取図



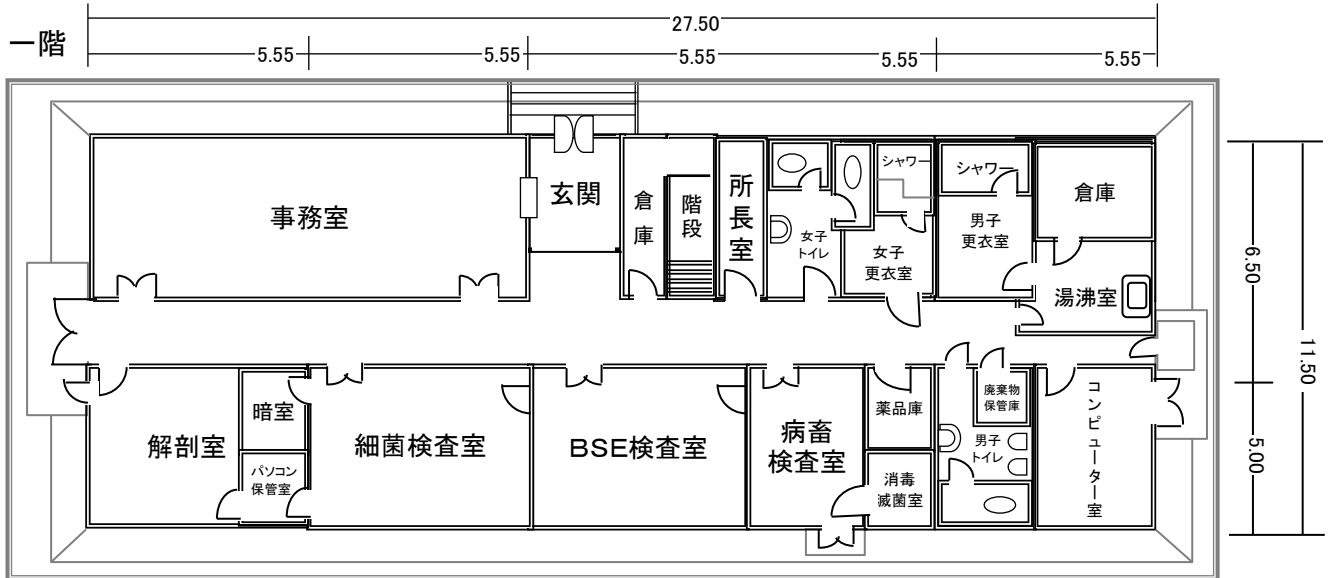
3) 主要検査備品

細菌検査関連機器			クリオスタット	サクラコールドトーム CM-41	1
品目	型式・規格	数量			
生物顕微鏡	オリンパス CX31N-11	1	パラフィン伸展器	サクラ PS-53	1
顕微鏡	オリンパス BHSU-323	1	ディスカッション顕微鏡	オリンパス BHS-D0-1	1
電子上皿天秤	株式会社 島津製作所 EB-430DW	1	倒立型顕微鏡	オリンパス CK-2	1
ストマッカー	グンゼ産業(株) 400D	1	落射式蛍光顕微鏡	オリンパス BHT-RFK-A1	1
PCR検査機器一式	TaKaRa TP-2000 他	1	実体顕微鏡	オリンパス SZ6045TRPT	1
DNA増幅措置(PCR実験装置)	タカラバイオPCR サーマルサイクラーTP350	1	顕微鏡写真撮影装置	オリンパス PM-10ADS	1
ウォーターバス	THOMAS T2S	1	顕微鏡用デジタル カメラ撮影セット	オリンパス DS5060L-A	1
培養器	ヤマト科学 IC-43	1	<b>BSE検査関連機器</b>		
細胞培養装置	(株)ヒラサワ CPD-172	1	品目	型式・規格	数量
低温恒温器	サンヨー MPR-312D	1	細胞破砕器FastPrep	フナコシ FP100A	1
薬用保冷庫	パナソニック MPR-414-PJ	1	細胞破砕器FastPrep	フナコシ FP120	1
理化学検査関連機器			微量高速遠心機	エッペンドルフ 5417C	1
品目	型式・規格	数量	微量高速遠心機	エッペンドルフ 5415D	1
ホモジナイザー	日本理化学器械 HM-SA	1	マイクロプレートウォッシャー	BIO-RAD モデル1575	1
ホモジナイザー	(株) エスエムテアー PH91	2	マイクロプレートリーダー	BIO-RAD モデル550	1
振とう機	ヤマト科学 SA-31	1	アルミブロック恒温槽	TAITEC DTU-1C	2
ユニバーサル冷却遠心機	久保田商事(株) 5911型	1	アルミブロック恒温槽	TAITEC DTU-2C	1
冷却超高速遠心機	トミー精工 RX-200	1	小型低温恒温器	東京理化学器械 SLI-170D	1
ロータリー エバポレーター	東京理化学器械 N-1型	1	低温恒温器	三菱電機エンジニアリング CN-25C	1
ロータリー エバポレーター	東京理化学器械 N-N型	1	超低温フリーザー	サンヨー MDF190AT	1
高速液体 クロマトグラフ	ヒューレットパッカード社 HP1100	1	冷凍冷蔵庫	三菱 MR-D30S	1
			現場検査室(と畜場)		
			品目	型式・規格	数量
蛍光検出器(高速液体 クロマトグラフ)	ヒューレットパッカード社 1046A	1	顕微鏡	オリンパス BHTU	1
分光光度計	日立 U-2000A	1	実体顕微鏡	オリンパス SZ-PT	1
マイクロプレート リーダー	コロナ電気 MTP-32	1	血液分析装置	富士ドライケムNX500 s V	1
ウォーターバス	ヤマト科学 BT-25	1	自動血球計数装置	エルマ PCE-210N	1
培養器	(株)いすゞ製作所 2-2195	1	培養器	アドバンテック TVA460DA	1
低温恒温器	アズワン PCI-301型	1	ヘマトクリット遠心機	(株)コクサン H-1200F	1
冷凍冷蔵庫	日立 R-S36RV	1	その他		
冷凍冷蔵庫	日立 R-26WS	1	品目	型式・規格	数量
<b>病理検査関連機器</b>			超純水製造装置	ミリボア Milli-Q Integral	1
品目	型式・規格	数量	器具類乾燥器	ヤマト科学 DK-43	1
パラフィン包埋 ブロック作成装置	サクラ TEC-P-DC-J0	1	超音波洗浄器	アズワン HZ-630	1
プレタトーム	サクラ精機(株) CRM-440	1	超音波洗浄器 (ピペット用)	シャープ UT-55	1
ディスカッション顕微鏡	オリンパス BX-51-33	1	乾熱滅菌器	アドバンテック FSP-650	1
密閉式自動固定包埋装置	サクラ VIP5-Jr-J0	1	超低温フリーザー	サンヨー MDF-192AT	1
マイクロトーム	大和工機工業(株) 滑走式	1	オートクレーブ	PHC(株) MLS-3030	1
			回転培養装置	(株)ヒラサワ HDR-6-T	1

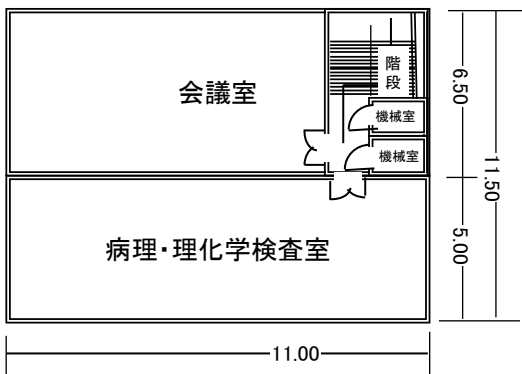
(2) 松本食肉衛生検査所

1) 平面図

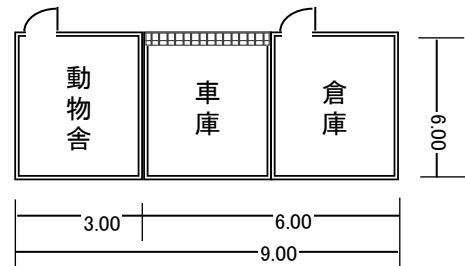
建物	本館	鉄筋コンクリート2階建	447.21m <sup>2</sup>
	動物舎	鉄筋平屋建	18.00m <sup>2</sup>
	車庫	鉄筋平屋建	36.00m <sup>2</sup>
	倉庫	コンクリートブロック	10.56m <sup>2</sup>



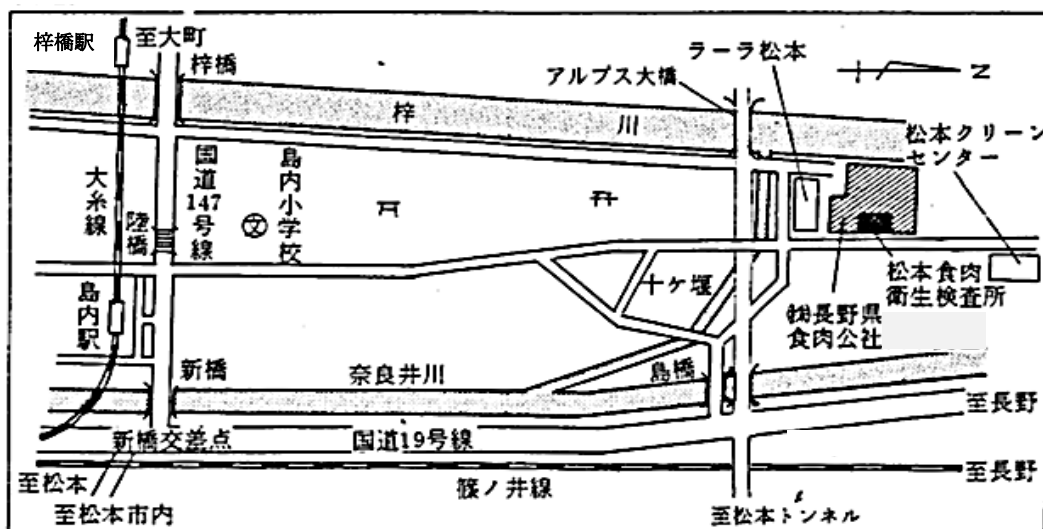
二階



別館



2) 付近見取図



3) 主要検査備品

細菌検査室			病理・理化学検査室		
品目	型式・規格	数量	品目	型式・規格	数量
クリーンベンチ	サンヨーMCV-B131F	1	卓上遠心器	国産H-108NA	1
顕微鏡	オリンパスBX43	1	PHメーター	堀場F-23C	1
マイクロ冷却遠心機	KUBOTA 3500	1	ロータリーエバポレーター	東京理化器械N-N	1
ゲル撮影装置	(株) アドバンス SCOPE WD	1	ウォーターバス	EYELA SB-651	1
恒温槽	アズワンTR-2A	1	ロータリーエバポレーター	東京理化器械N-1	1
ユニット恒温槽	タイテック DX-100	1	真空制御ユニット	東京理化NVC-1100	1
冷凍冷蔵庫	パナソニックNR-C378 M-P	1	ウォーターバス	EYELA CB-35	1
プログラム低温恒温器	ヤマト科学IL702	1	アスピレーター	EYELA A-3S	1
コロニー計算器	カヤガキDC-3	1		EYELA A-1000S	1
恒温機	EYELA LTI600SD	1	電子天秤	島津EL600	1
ホットスターラー	アズワンRSH-1DV, 1DR	2	吸引マニホールド	GL Sciences	1
ホモジナイザーストマッカー	アズワン パックミキサーミニ100P	1		Iwaki APN-215MV-1-50	1
<b>BSE検査室</b>			ホモジナイザー	SMT PH91	1
品目	型式・規格	数量	密閉式超音波 細胞破碎装置	オリンパス UC-100D2	1
低温恒温器	日立 1800×700×540	1	検体粉碎機	Ultra Turrax Tp 18 10	1
安全キャビネット	アステックASC-137	1	高速液体クロマトグラフ	日本分光PU980, AS950, C0965, MD-910	1
コンパクト天びん	AND HL-100	1	電子分析天秤	ザルトリウスLA230SV	1
ピペットエイド	FASTPETTE V-2	1	フリーザー	サンヨー HF10CT	1
恒温槽	アズワンTR-2A	1	冷凍冷蔵庫	三菱MR-C37S-W形	1
パワーミックス	LABINCO L46	1	冷蔵庫	サンヨー メディカルMPR-161 (H)	1
アルミブロック恒温槽	TAITEC DTU-2C	1	大型2周波超音波洗浄機	アズワンHZ630	1
遠心器	ependorf 5430	1	超純水製造装置	ミリポアSPスタンダード	1
小型恒温器	EYELA SLI-170D型	1	純水製造装置	ミリポアElix-uv3	1
細胞破碎器Fast Prep	フナコシFP24	1	振とう機	ヤマトSA-31	1
マイクロプレートウォッシャー	BIO-RAD Model 1575	1	振とう機	ヤマトSA300	1
マイクロプレートリーダー	BIO-RAD Model 168-1130	1	ドラフトチャンバー	SHIMADZU 361-67225	1
コンピューター	NEC VersaPro	1	落射蛍光顕微鏡	オリンパス BH2	1
プリンター	CANNON LBP-3000	1	顕微鏡写真撮影装置	オリンパスPM-CBSP	1
上皿式電子分析天秤	アズワンIB-200H	1	マイクローム	サクラ滑走式IVS-400	1
上皿式電子分析天秤	トラ-AE160	1	パラフィン伸展器	サクラPS52	1
遠心器	Heraeus Biofuge Pico	1	湯浴式パラフィン伸展器	サクラPS-M	1
冷凍冷蔵庫	サンヨーSR-H401K(S)形	1	実体顕微鏡	ニコンSMZ-10	1
PCR法検査器	Takara Dice mini TP100	1	双方顕微鏡	ニコンLABOPHOT	1
電子レンジ	船井H057-6A	1	自動固定包埋装置	サクラ密閉式VIP-5-Jr-Jo	1
超音波洗浄器	オリンパス KS-2	1	パラフィン包埋ブロック作成装置	サクラTEC-P-S-JO	1
蛍光顕微鏡用超高压水銀灯電源	オリンパス BH2-RFL-T2	1	コールドトーム	サクラ CM41	1
<b>病畜検査室</b>			<b>消毒滅菌室</b>		
品目	型式・規格	数量	品目	型式・規格	数量
生化学自動分析装置	富士ドライケムシステムNX500eV	1	高压蒸気滅菌器	HIRAYAMA HVE-50	1
自動血球計算器	日本光電Celltac α MEK6450	1	自動式高压蒸気滅菌器	サンヨー MLS-2420	1
顕微鏡	オリンパスBX41	1	乾熱滅菌器	yamata SG-42	1
ヘマトクリット用分離機	KOKUSAN H-1200F	1	<b>その他</b>		
卓上小型遠心機	KUBOTA KA-1000	1	品目	型式・規格	数量
ミニインキュベーター	三菱 CN-25C	2	スライド映写機	パーフェクトキャビンII	1
冷凍冷蔵庫	日立R-27AS	1	プロジェクター	EPSON offirio	1
小型超低温槽	NIHON FREEZER MY BIO VT-78	1			
大型超低温槽	ナショナル NR-FC22FF-W	1			



(3) 長野食肉衛生検査所

1) 平面図

建物

本館	鉄筋コンクリート2階建	399.54 m <sup>2</sup>
動物舎	コンクリートブロック平屋	36.00 m <sup>2</sup>
車庫	鉄筋平屋建	33.00 m <sup>2</sup>



2) 付近見取図



3) 主要検査備品

細菌検査室			顕微鏡写真撮影装置	オリンパス PM-10ADS	1
品目	型式・規格	数量	ディスカッション顕微鏡	オリンパス BHS-DO-1	1
システム顕微鏡	オリンパス BHS-523-SW	1	落射式蛍光顕微鏡	オリンパス BHT-RFK-A1	1
実体顕微鏡	ニコン SM2-10-1	1	密閉式自動固定包埋装置	サクラ ETP-300CV	1
PCR法検査機器	Thermo Piko24	2	パラフィン包埋 ブロック作成装置	サクラ TEC-4	1
オートクレーブ	株平山製作所 HVE-50	1			
オートクレーブ	株平山製作所 HVN-50	1	湯浴式パラフィン伸展器	サクラ PS-25WH	1
低温培養器	サンヨー MIR-152	1	パラフィン伸展器	サクラ PS-53	1
プログラム恒温器	ヤマト科学 IN802	1	マイクロトーム	大和工機工業 滑走式	1
落射式蛍光顕微鏡	オリンパス BHT-RFK-A1	1	マイクロトーム	サクラコールドトーム CM-41	1
<b>理化学検査室</b>					
品目	型式・規格	数量	写真機	アサヒペンタックス スーパーA	1
上皿天秤	メトラー XS205	1	システム顕微鏡	オリンパスBX-53 8H52253	1
乾熱滅菌器	株いすず製作所 SSK-115	1			
吸引加圧両用ポンプ	日本ミリポア	1	<b>BSE検査室</b>		
品目	型式・規格	数量	品目	型式・規格	数量
ストマッカー	seward 80-400ml	1	安全キャビネット	日立 SCV-1304EC・ⅡB	1
ホモジナイザー	日本精機 HD-II	1	低温恒温器	ヤマト科学IX3017ホキョーブ	1
ホモジナイザー	日本精機 AM-3	1	細胞破砕器FastPrep	フナコシ Fastprep-24	1
振とう機	アズワン AS-1	1	微量高速遠心機	エッペン ドルフ 5417C	1
超音波洗浄機	アズワン MUC-63D	1	アルミブロック恒温槽	TAITEC DTU-1C	1
超低温フリーザー	日本フリーザー VT-78	1	マイクロプレート ウォッシャー	BIO-RAD モデル1575	1
冷却遠心機	トミー工業 LX120	1		マイクロプレート リーダー	BIO-RAD iMark
ロータリー エバポレーター	東京理化器械 N-1型	1	<b>現場検査室</b>		
ロータリー エバポレーター	東京理化器械 N-N型	1	品目	型式・規格	数量
カラムプロセッサ	和光 Spe-12G	1	顕微鏡	オリンパス CX21N-22S	1
プログラム恒温器	ヤマト科学 IN604	1	生化学自動分析装置	富士ドライケムNx500sV	1
pHメーター	東亜DKK HM-30G	1	自動血球計数器	日本光電(株) MEK-6358	1
<b>病理検査室</b>			ヘマトクリット遠心機	久保田商事(株) センテック3220	1
品目	型式・規格	数量			
デジタル撮影装置付 生物顕微鏡	オリンパス BX51N-33	1			

## 第 2 章 食 肉 検 査 統 計

# I 全 県 統 計

第 1 表 と畜検査頭数（畜種・月・検査所別）

	総数	牛		とく	馬		豚	めん羊		山羊		
		乳用	肉用		1才以上	1才未満		1才以上	1才未満	1才以上	1才未満	
総数	129,437	7,901	1,818	6,083	10	39	—	121,144	253	21	17	52
4月	11,707	740	165	575		2		10,929	29	3	3	1
5月	10,823	571	150	421	1	2		10,217	22	3	1	6
6月	8,729	582	130	452		3		8,111	22	1	4	6
7月	10,268	866	187	679	1	3		9,363	25		2	8
8月	9,028	570	129	441	1	8		8,426	23			
9月	10,372	620	174	446	2	7		9,707	26		1	9
10月	12,017	673	179	494		2		11,310	20	2	1	9
11月	10,830	761	177	584	2	5		10,029	23	3		7
12月	11,825	803	144	659		2		10,999	18	3		
1月	11,335	587	134	453	2	2		10,720	17	2		5
2月	10,661	541	123	418	1	1		10,099	10	4	5	
3月	11,842	587	126	461		2		11,234	18			1
上田	17,813	2,533	537	1,996	1	1		15,210	16	13	10	29
松本	64,910	3,697	1,123	2,574	7	26		60,919	226	5	7	23
長野	46,714	1,671	158	1,513	2	12		45,015	11	3		
平成30年度	149,806	8,415	1,946	6,469	9	48	—	141,017	219	25	16	57
平成29年度	150,382	8,568	2,115	6,453	12	46	—	141,443	220	26	23	44

第 2 表 獣畜のとさつ解体禁止又は廃棄した件数（畜種・原因・処分方法・検査所別）

	実 頭 数	総 数	炭 疽	豚 じん 麻疹 型		丹 関 節 炎 型	毒 敗 血 症 型	そ の 他 の 細 菌 病	ト キ ソ プ ラ ズ マ 病	そ の 他 の 原 虫 病	ジ ス ト マ 病	そ の 他 の 寄 生 虫 病	膿 毒 症	敗 血 症	尿 毒 症	黄 疸	水 腫	腫 瘍	白 血 病	炎 産 物 に よ る 汚 染 症	変 性 又 は 萎 縮	そ の 他
				豚 じん 麻疹 型	丹 関 節 炎 型																	
総 数	129,437	120,011	—	—	3	2	10	—	—	8	680	39	107	7	2	184	386	22	103,013	4,857	10,691	
合計	正 常	24,237	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	禁 止	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	全部廃棄	186	186	—	—	3	2	—	—	—	—	—	39	107	7	—	—	4	22	2	—	
一部廃棄	105,014	119,825	—	—	—	—	10	—	—	8	680	—	—	—	2	184	382	—	103,011	4,857	10,691	
牛	正 常	157	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	禁 止	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	全部廃棄	46	46	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9	8	4	—	—	2	22	1	—	
一部廃棄	7,698	12,806	—	—	—	—	10	—	8	12	—	—	—	—	2	147	362	—	7,629	951	3,685	
とく	正 常	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	禁 止	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	全部廃棄	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	
一部廃棄	8	13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	9	—	3	
馬	正 常	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	禁 止	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	全部廃棄	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
一部廃棄	33	42	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1	1	—	31	1	7	
豚	正 常	23,815	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	禁 止	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	全部廃棄	138	138	—	—	3	2	—	—	—	—	—	30	97	3	—	—	2	—	1	—	
一部廃棄	97,191	106,871	—	—	—	—	—	—	—	—	667	—	—	—	36	17	—	—	95,267	3,894	6,990	
めん羊	正 常	214	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	禁 止	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	全部廃棄	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	
一部廃棄	59	64	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	53	6	4	
山羊	正 常	44	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	禁 止	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	全部廃棄	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
一部廃棄	25	29	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	22	5	2	
上田	正 常	1,054	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	禁 止	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	全部廃棄	22	22	—	—	1	—	—	—	—	—	—	10	8	1	—	—	2	—	—	—	
一部廃棄	16,737	22,199	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	67	3	—	16,578	2,828	2,722	
松本	正 常	14,827	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	禁 止	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	全部廃棄	153	153	—	—	2	2	—	—	—	—	—	24	95	6	—	—	4	18	2	—	
一部廃棄	49,930	57,290	—	—	—	—	9	—	5	677	—	—	—	—	110	379	—	—	48,701	1,328	6,081	
長野	正 常	8,356	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	禁 止	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	全部廃棄	11	11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	4	—	—	—	2	—	—	—	
一部廃棄	38,347	40,336	—	—	—	—	1	—	3	3	—	—	—	1	7	—	—	—	37,732	701	1,888	
平成30年度	正 常	30,551	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	禁 止	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	
	全部廃棄	191	191	—	1	7	—	—	—	—	—	—	53	99	5	2	—	5	16	1	2	—
一部廃棄	119,062	134,540	—	—	—	—	7	—	—	12	1,020	—	—	—	3	146	364	—	116,588	5,322	11,078	
平成29年度	正 常	33,309	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	禁 止	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	
	全部廃棄	269	352	—	10	93	4	—	—	—	—	—	119	88	3	2	—	11	17	—	5	—
一部廃棄	116,803	157,104	—	—	—	—	7	—	—	12	2,123	—	—	—	18	244	399	—	135,151	6,823	12,327	

第 3 表 牛の主たる原因別一部廃棄処分の内訳

総 数		総数	上田	松本	長野			総数	上田	松本	長野
		36,002	13,654	18,382	3,966	泌尿生殖器系	腎 炎	295	33	243	19
							膀胱炎・尿道炎	900	495	263	142
							尿 石 症	875	557	217	101
							子宮内膜炎	213	34	177	2
							乳 房 炎	303	54	225	24
						その他の疾病	38	4	30	4	
消化器系	口 腔 内 異 常	49	4	44	1	運動器系	筋・皮下膿瘍	109	12	87	10
	胃 炎	5,578	1,527	3,740	311		筋 炎	523	156	304	63
	胃 潰 瘍	2,107	958	777	372		筋・腱断裂	66	12	54	
	第1胃パラケラトージス	2,030	1,002	978	50		関 節 炎	559	39	434	86
	鼓 脹 症	6		6			骨 膿 瘍	6	1	5	
	食 滞	14	1	12	1		骨 折	39	12	26	1
	胃 拵 張	25	6	16	3		脱 臼	89	19	64	6
	小 腸 炎	3,041	1,279	1,081	681		蹄 炎	29	6	22	1
	大 腸 炎	4,159	1,746	1,839	574		その他の炎症	21	5	12	4
	[ 腸 う っ 血 ]	[356]	[3]	[352]	[1]		その他の疾病	38		38	
	肝 膿 瘍	340	81	170	89	神経系	その他の炎症	1		1	
	鋸 屑 肝	452	265	101	86	感覚器	その他の炎症				
	肝 包 膜 炎	1,385	784	468	133	奇形	へ ル ニ ア	4		4	
	肝 炎	1,376	334	1,014	28		奇 形	103	6	96	1
	肝 富 脈 斑	578	216	316	46	細菌病	放 線 菌 病	8		7	1
	退 色 肝	805	507	272	26		その他の細菌病	2		2	
	肝 う っ 血	318	278	28	12	寄生虫病	原 虫 病				
	胆管炎・胆嚢炎	93	35	53	5		肝 蛭 症				
腹 膜 炎	110	24	68	18	その他の吸虫症		8		5	3	
その他の炎症	3	1	2			線 虫 症					
その他の変性	5	1	4			無 鈎 嚢 虫 症	2		2		
その他の疾病	12	2	8	2		その他の条虫症	10		8	2	
循環器系	心 内 膜 炎	8	2	6		腫瘍	腫 瘍	363	3	360	
	物 質 沈 着	7		7		外傷	外 傷	463	111	345	7
	心 内 膜 異 常	312	64	245	3	水腫	水 腫	160	62	98	
	心 外 膜 炎	447	90	337	20	その他	脂 肪 壊 死	1,369	500	554	315
	心 筋 炎	273	5	268			黄 疸	2	1		1
	心 筋 異 常	13	6	7			色 素 沈 着 症	34	3	31	
	脾 炎	13	5	8			中 毒	7		7	
	動 静 脈 炎	-					難 産	7		7	
リンパ節炎	31	5	23	3		起 立 不 能 症	126	21	80	25	
その他の変性	-					熱・日射病					
						その他の炎症	3		3		
呼吸器系	肺 膿 瘍	43	5	30	8	その他の疾病	4	1	2	1	
	肺 炎	1,092	384	290	418						
	水 腫	1		1							
	肺 氣 腫	759	308	422	29						
	胸 膜 炎	3,573	1,541	1,861	171						
横 隔 膜 炎	171	41	73	57							
その他の炎症	1		1								

※ 総数には、[ ]印で示したと殺性変化等の件数は計上されていません。

第 4 表 豚の主たる原因別一部廃棄処分の内訳

総 数		総数	上田	松本	長野			総数	上田	松本	長野	
		168,582	34,042	78,972	55,568	泌尿生殖器系	腎 炎	986	237	444	305	
							膀胱炎・尿道炎	918	83	640	195	
							子宮内膜炎	909	18	882	9	
							乳房炎	51	2	40	9	
							その他の疾病	381	126	228	27	
消化器系	口腔内異常	5	1	4		運動器系	筋・皮下膿瘍	2,507	234	1,526	747	
	胃 炎	22	4	18			筋 炎	221	63	29	129	
	小腸炎	1,492	302	908	282		筋・腱断裂	93	4	8	81	
	腸気腫	80	20	37	23		関節炎	470	22	314	134	
	大腸炎	3,361	145	2,887	329		骨膿瘍	112	13	43	56	
	[腸うっ血]	[568]	[423]	[103]	[42]		骨折	211	11	114	86	
	肝膿瘍	44	9	18	17		脱臼	3	1	2		
	肝結節	13,866	1,912	8,195	3,759		蹄炎	9	1	5	3	
	肝包膜炎	5,907	3,017	1,402	1,488		その他の炎症	148	116	13	19	
	肝 炎	1,333	877	306	150		その他の疾病	-				
	退色肝	3,363	1,895	902	566		神経系	その他の炎症	-			
	肝うっ血	707	521	87	99		感覚器	その他の炎症	-			
	胆管炎・胆嚢炎	4	3	1			奇形	ヘルニア	1,676	60	1,173	443
	腹膜炎	1,116	269	576	271			奇形	2,035	213	1,642	180
	その他の炎症	17	1	16								
その他の変性	-											
その他の疾病	92	6	65	21								
循環器系	心内膜炎	14	3	7	4	細菌病	放線菌病	-				
	心内膜異常	386	91	284	11		その他の細菌病	-				
	心外膜炎	5,367	673	2,516	2,178	非定型抗酸菌症	非定型抗酸菌症	846	40	256	550	
	心筋炎	9	1	8		寄生虫病	原虫病	-				
	心筋異常	7	3	4			吸虫症	-				
	脾 炎	28	8	17	3		線虫症	667		666	1	
	動静脈炎	-					囊中症	-				
	リンパ節炎	1,481	671	574	236		その他の条虫症	-				
	その他の変性	-				腫瘍	腫 瘍	17		17		
	その他の疾病	45	2	37	6	外傷	外 傷	1,387	865	260	262	
呼吸器系	鼻 炎	1		1		水腫	水 腫	33	12	14	7	
	M P S	74,349	10,762	38,178	25,409	その他	尾咬傷	280	32	62	186	
	肺膿瘍	912	444	323	145		黄色素沈着症	3		3		
	肺炎	1,748	957	425	366		中毒	-				
	胸膜肺炎	1,830	492	547	791		難産	-				
	肺気腫	11	7	4			起立不能症	177	4	41	132	
	胸膜炎	35,919	8,779	11,562	15,578		熱・日射病	-				
	横隔膜炎	19	1	18			その他の炎症	-				
	その他の炎症	-					その他の疾病	907	9	623	275	

※ 総数には、[ ]印で示したと殺性変化等の件数は計上されていません。



第 5 表 精密検査実施数（畜種・検査項目・疾病・検査所別）

令和元年度  
全県  
単位：頭

(1) 検査項目別

		検査頭数	のべ検査頭数	血液一般検査 (レビーゲル検査を含む)	細菌検査	理化学検査	病理検査	その他の検査
総数		911	1,435	628	282	488	37	—
畜種別	牛	637	1,132	606	53	446	27	
	とく	4	7	4	1	2		
	馬	1	2	1		1		
	豚	263	286	14	226	36	10	
	めん羊 山 羊	5 1	6 2	2 1	2	2 1		
検査所別	上田	178	224	122	67	31	4	
	松本	630	1,104	424	197	455	28	
	長野	103	107	82	18	2	5	

血液一般検査：レビーゲル、Ht、TP、血球計数などの一般的な検査  
 細菌検査：敗血症、膿毒症、豚丹毒などの細菌検査  
 理化学検査：尿毒症（BUN）、黄疸（T-Bil）などの測定  
 病理検査：腫瘍、水腫などの病理組織検査

令和元年度  
全 県  
単位：件

(2) 疾 病 別

	総 数	細 菌 学 的 検 査				理 化 学 的 検 査			病 理 ・ 寄 生 虫 ・ ウ イ ル ス 検 査			
		敗 血 症	膿 毒 症	豚 丹 毒	そ の 他	黄 疸	尿 毒 症	そ の 他	腫 瘍	白 血 病	トラ キズ ソマ プ病	そ の 他
総 数	1,081 (184)	170 (107)	66 (37)	134 (5)	— (—)	197 (—)	476 (7)	— (—)	6 (4)	23 (22)	— (—)	9 (2)
牛	705 (46)	37 (8)	16 (9)			189	435 (4)		2 (2)	23 (22)		3 (1)
とく 馬	4 (1) 1 (—)	1 (1)				1 1	2					
豚	366 (136)	130 (97)	50 (28)	134 (5)		6	36 (3)		4 (2)			6 (1)
めん羊	4 (1)	2 (1)					2					
山 羊	1 (—)						1					
上 田	102 (22)	41 (8)	17 (10)	9 (1)		5	26 (1)			2 (2)		2
松 本	954 (153)	118 (95)	44 (24)	123 (4)		191	449 (6)		6 (4)	19 (18)		4 (2)
長 野	25 (9)	11 (4)	5 (3)	2		1	1			2 (2)		3

( )の数字は禁止又は廃棄した頭数(内書)

第 6 表 動物用医薬品等の残留検査実施状況 (畜種・検査項目・検査所別)

		総 数	乳 牛 繁 殖	乳 牛 肥 育	肉 牛 繁 殖	肉 牛 肥 育	と く	馬	豚 繁 殖	豚 肥 育	めん羊	山羊	食鳥	
病 畜	検査頭数	849	507	6	26	75	2	1	22	205	4	1	—	
	検体数	簡 易	861	517	6	26	75	2	1	24	205	4	1	
		定性・定量	6	4			2							
	陽性数	腎	4	3			1							
筋 肉 そ の 他		— —												
モ ニ タ リ ン グ	検査頭数	118	8	—	1	28	—	—	4	77	—	—	—	
	検体数	簡 易	128	9		1	31			4	83			
		定性・定量	7				2				5			
	陽性数	腎	—											
筋 肉 そ の 他		— —												
その他	検査頭数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	陽 性 数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
検査頭数合計		967	515	6	27	103	2	1	26	282	4	1	—	
処 分 性 物 質 頭 数	ペニシリン系	—												
	テトラサイクリン系	—												
	マクロライド系	—												
	アミノグリコシド系	—												
	他の抗生物質	—												
	サルファ剤	—												
	他の合成抗菌剤	—												
	その他	—												
合 計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
検査頭数	上 田	192	96	1	3	29		1	6	56				
	松 本	650	361	5	23	41	2		20	193	4	1		
	長 野	125	58		1	33				33				
平成30年度	検査頭数	1,003	482	12	22	107	5	3	53	318	1			
	処分頭数	—												
	全部廃棄頭数※	—												

※：処分頭数の内書

令和元年度  
全 県  
単位：頭

第 7 表 時間外と畜検査頭数（畜種・月・検査所別）

	総数	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	平成 30年度	平成 29年度
総 数	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	2 (-)	- (-)
牛	肉用	- (-)													
	乳用	- (-)													
とく	- (-)														
馬	- (-)													2	
豚	- (-)														
めん羊	- (-)														
山羊	- (-)														
上 田	- (-)														
松 本	- (-)													2	
長 野	- (-)														
平成30年度	2 (-)								2						
平成29年度	- (-)														

( )内の数字は切迫と畜頭数（内書）

第 8 表 伝達性海綿状脳症検査実施状況

		総数	牛		めん羊		山羊			
			症状を呈する牛※1	その他の牛※2	TSE疑いのめん羊※3	その他のめん羊※4	TSE疑いの山羊※3	その他の山羊※4		
スクリーニング検査	総数	2	2	2	—	—	—	—	—	—
	陰性数	2	2	2	—	—	—	—	—	—
	陽性数	—	—	—	—	—	—	—	—	—
確定診断 陽性数		—	—	—	—	—	—	—	—	—
上 田		1	1	1	—	—	—	—	—	—
松 本		1	1	1	—	—	—	—	—	—
長 野		—	—	—	—	—	—	—	—	—

※1 生後24か月齢以上の牛のうち、生体検査において、原因不明の運動障害、知覚障害、反射異常、意識障害等の何らかの神経症状又は全身症状(事故による骨折、関節炎、熱射病等による起立不能等症状の原因が明らかな牛は除く。)を示す牛

※2 検査を実施した具体的な理由 ( )

※3 生体検査において、運動障害、知覚障害、反射又は意識障害等の神経症状が疑われたもの及び全身症状を呈するめん羊・山羊

※4 生体検査において、消瘦、被毛粗剛、脱毛、そう痒症、関節炎、異常行動、運動失調等の臨床症状を呈するめん羊・山羊

第 9 表 動物由来感染症実態調査実施状況（検査項目・検体別）

検査所		上 田		松 本		長 野		合 計		陽性の内容	
検査項目		検体数	陽性数	検体数	陽性数	検体数	陽性数	検体数	陽性数		
腸管出血性大腸菌 ※	牛	枝肉	252		540		132		924	—	
		肝臓	60		48		66		174	—	
		腸内容物	120	1	12		66		198	1	0111:H-(VT1) (1)
		体表								—	
	馬	枝肉								—	
		腸内容物								—	
		体表								—	
	めん羊	枝肉								—	
		腸内容物								—	
		体表								—	
	豚	枝肉								—	
		腸内容物								—	
		体表								—	
	食鳥	と体								—	
		腸内容物								—	
	環境	と畜場内	7						7	—	
		食鳥処理場内								—	
カンピロ バクター	牛	腸内容物	21	6	23	11		44	17	<i>C. jejuni</i> (6), <i>C. coli</i> (11)	
		胆汁	21	3	23	10	31	75	13	<i>C. jejuni</i> (6), <i>C. coli</i> (7)	
	食鳥	と体	49	4			15	3	64	7	<i>C. jejuni</i> (7)
		腸内容物・肝臓	4	3					4	3	<i>C. jejuni</i> (3)
	環境	食鳥処理場内	13	4			6		19	4	<i>C. jejuni</i> (4)
サルモネ ラ属菌	牛	枝肉	62		98		62		222	—	
		肝臓								—	
		腸内容物	25						25	—	
	馬	枝肉								—	
		肝臓								—	
	豚	枝肉	36		140		110		286	—	
		腸内容物	29						29	—	
	食鳥	と体	46				15		61	—	
		腸内容物・肝臓	4						4	—	
環境	と畜場内	5						5	—		
	食鳥処理場内	8	1			6		14	1	<i>S. enterica</i> 04群(1)	
黄色ブド ウ球菌	食鳥	と体	46				15	4	61	4	
		腸内容物・肝臓	4						4	—	
	環境	食鳥処理場内	8						8	—	
糞便系大 腸菌群	牛	枝肉	55	6	40	2	8		103	8	
		肝臓								—	
	馬	枝肉								—	
		肝臓								—	
環境	と畜場内								—		
合 計		875	28	924	23	532	7	2,331	58		

※ 腸管出血性大腸菌は、0157、026、0111を対象としたスクリーニング検査を行い、分離された菌株について、血清型等を詳細に検査した。検体数は、延べ検体数。

## Ⅱ 食肉衛生検査所別統計

# 1 上田食肉衛生検査所



第 1 表 と畜検査頭数（畜種・月・と畜場別）

単位：頭

	区分	総数	牛		とく	馬		豚	めん羊		山羊		
			乳用	肉用		1才以上	1才未満		1才以上	1才未満	1才以上	1才未満	
総数	佐久	17,813	2,533	537	1,996	1	1	—	15,210	16	13	10	29
4月	佐久	1,212	225	37	188				981	1	3	1	1
5月	佐久	1,251	171	42	129				1,069	1	3	1	6
6月	佐久	1,110	204	39	165				895	3		2	6
7月	佐久	1,446	290	69	221				1,144	2		2	8
8月	佐久	905	184	34	150				720	1			
9月	佐久	1,292	211	48	163				1,075	3		1	2
10月	佐久	1,358	213	50	163				1,140		1		4
11月	佐久	1,493	249	64	185	1			1,237	4			2
12月	佐久	1,463	220	34	186				1,241		2		
1月	佐久	1,779	194	41	153				1,583		2		
2月	佐久	2,070	180	37	143				1,885		2	3	
3月	佐久	2,434	192	42	150		1		2,240	1			
平成30年度	佐久	26,328	2,893	627	2,266	1			23,367	19	12	6	30
平成29年度	佐久	23,093	3,132	710	2,422	4	1		19,881	11	15	17	32

第 2 表 獣畜のとさつ解体禁止又は廃棄した件数（畜種・原因・処分方法別）

上田食肉衛生検査所

単位：件

	実 頭 数	総 数	炭 疽	豚			その 他の 細菌 病	ト キ ソ プ ラ ズ マ 病	その 他の 原 虫 病	ジ ス ト マ 病	その 他の 寄 生 虫 病	膿 毒 症	敗 血 症	尿 毒 症	黄 疸	水 腫	腫 瘍	白 血 病	炎 症 又 は 汚 染	産 物 に よ る 汚 染	変 性 又 は 萎 縮	そ の 他
				豚 じん 麻 疹 型	丹 関 節 炎 型	毒 敗 血 症 型																
総 数	17,813	22,221	—	—	1	—	—	—	—	—	—	10	8	1	1	67	3	2	16,578	2,828	2,722	
合 計	正 常	1,054	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	禁 止	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	全部廃棄	22	22	—	—	1	—	—	—	—	—	10	8	1	—	—	—	2	—	—	—	
	一部廃棄	16,737	22,199	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	67	3	—	16,578	2,828	2,722	
牛	正 常	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	禁 止	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	全部廃棄	5	5	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	—	—	—	2	—	—	—	
	一部廃棄	2,523	4,524	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	53	3	—	2,516	584	1,367	
と く	正 常	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	禁 止	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	全部廃棄	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
一部廃棄	1	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	
馬	正 常	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	禁 止	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	全部廃棄	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
一部廃棄	1	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	
豚	正 常	1,017	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	禁 止	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	全部廃棄	17	17	—	—	1	—	—	—	—	—	9	7	—	—	—	—	—	—	—	—	
一部廃棄	14,176	17,631	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	14	—	—	14,027	2,239	1,351		
めん 羊	正 常	14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	禁 止	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	全部廃棄	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
一部廃棄	15	17	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	14	2	1		
山 羊	正 常	18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	禁 止	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	全部廃棄	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
一部廃棄	21	23	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	19	3	1		
平 成 30 年 度	正 常	1,084	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	禁 止	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	全部廃棄	29	29	—	—	3	—	—	—	—	—	7	16	1	—	—	—	1	—	—	1	
一部廃棄	25,215	31,186	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	63	11	—	25,048	3,034	3,017		
平 成 29 年 度	正 常	2,150	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	禁 止	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	全部廃棄	18	18	—	—	—	—	—	—	—	—	5	7	—	—	—	1	4	—	—	—	
一部廃棄	20,925	24,306	—	—	—	—	—	—	1	9	—	—	—	6	38	7	—	20,637	754	2,854		

第 3 表 牛の主たる原因別一部廃棄処分の内訳

単位：件

総 数		13,654				
消化器系	口 腔 内 異 常	4	泌尿生殖器系	腎 炎	33	
	胃 炎	1,527		膀胱炎・尿道炎	495	
	胃 潰 瘍	958		尿 石 症	557	
	第1胃パラケラトージス	1,002		子 宮 内 膜 炎	34	
	鼓 脹 症			乳 房 炎	54	
	食 滞	1		そ の 他 の 疾 病	4	
	胃 弛 張	6		運動器系	筋・皮下膿瘍	12
	小 腸 炎	1,279			筋 炎	156
	大 腸 炎	1,746			筋・腱断裂	12
	[ 腸 う っ 血 ]	[3]			関 節 炎	39
	肝 膿 瘍	81	骨 膿 瘍		1	
	鑑 脣 肝	265	骨 折		12	
	肝 包 膜 炎	784	脱 臼		19	
	肝 炎	334	蹄 炎		6	
	肝 富 脈 斑	216	そ の 他 の 炎 症		5	
	退 色 肝	507	そ の 他 の 疾 病			
	肝 う っ 血	278	神経系	そ の 他 の 炎 症		
	胆 管 炎・胆 嚢 炎	35	感覚器	そ の 他 の 炎 症		
	腹 膜 炎	24	奇形	へ ル ニ ア 奇 形	6	
	そ の 他 の 炎 症	1	細菌病	放 線 菌 病		
そ の 他 の 変 性	1	寄生虫病	そ の 他 の 細 菌 病			
そ の 他 の 疾 病	2		原 虫 病			
循環器系	心 内 膜 炎		2	肝 蛭 症		
	物 質 沈 着			そ の 他 の 吸 虫 症		
	心 内 膜 異 常		64	線 虫 症		
	心 外 膜 炎		90	無 鉤 嚢 虫 症		
	心 筋 炎		5	そ の 他 の 条 虫 症		
	心 筋 異 常		6	腫瘍	腫 瘍	3
	脾 炎		5	外傷	外 傷	111
	動 静 脈 炎			水腫	水 腫	62
	リンパ節炎	5	その他	脂 肪 壊 死	500	
	そ の 他 の 変 性			黄 疸 症	1	
呼吸器系	肺 膿 瘍	5		黄 色 素 沈 着 症	3	
	肺 炎	384		中 毒 症		
	水 腫			難 産 症		
	肺 気 腫	308	起 立 不 能 症	21		
	胸 膜 炎	1,541	熱 ・ 日 射 病			
横 隔 膜 炎	41	そ の 他 の 炎 症				
そ の 他 の 炎 症		そ の 他 の 疾 病	1			

※ 総数には、[ ]印で示したと殺性変化等の件数は計上されていません。

第 4 表 豚の主たる原因別一部廃棄処分の内訳

単位：件

総 数		34,042				
消化器系	口 腔 内 異 常	1	泌尿生殖器系	腎 炎	237	
	胃 炎	4		膀胱炎・尿道炎	83	
	小 腸 炎	302		子宮内膜炎	18	
	腸 気 腫	20		乳 房 炎	2	
	大 腸 炎	145	運動器系	その他の疾病	126	
	[ 腸 う っ 血 ]	[423]		筋・皮下膿瘍	234	
	肝 膿 瘍	9		筋 炎	63	
	肝 結 節	1,912		筋・腱断裂	4	
	肝 包 膜 炎	3,017		関 節 炎	22	
	肝 炎	877		骨 膿 瘍	13	
	退 色 肝	1,895		骨 折	11	
	肝 う っ 血	521		脱 臼	1	
	胆 管 炎・胆 嚢 炎	3		蹄 炎	1	
	腹 膜 炎	269		その他の炎症	116	
	その他の炎症	1		その他の疾病		
	その他の変性			神経系	その他の炎症	
	その他の疾病	6	感覚器	その他の炎症		
	循環器系	心 内 膜 炎	3	細菌病	ヘルニア	60
		心 内 膜 異 常	91		奇 形	213
心 外 膜 炎		673	非定型抗酸菌症	放 線 菌 病		
心 筋 炎		1		その他の細菌病		
心 筋 異 常		3	寄生虫病	非 定 型 抗 酸 菌 症	40	
脾 炎		8		原 虫 病		
動 静 脈 炎				吸 虫 症		
リンパ節炎		671		線 虫 症		
その他の変性			腫瘍	囊 中 症		
その他の疾病		2		その他の条虫症		
呼吸器系	鼻 炎		外傷	腫 瘍		
	M P S	10,762		外 傷	865	
	肺 膿 瘍	444	水腫	水 腫	12	
	肺 炎	957		その他	尾 咬 傷	32
	胸 膜 肺 炎	492			黄 疸	
	肺 気 腫	7			色 素 沈 着 症	
	胸 膜 炎	8,779			中 毒 症	
	横 隔 膜 炎	1			難 産 症	
	その他の炎症				起 立 不 能 症	4
					熱 ・ 日 射 病	
		その他の炎症				
		その他の疾病	9			

※ 総数には、[ ]印で示したと殺性変化等の件数は計上されていません。

第 5 表 精密検査実施数（畜種・検査項目・疾病別）

令和元年度  
上田食肉衛生検査所

(1) 検査項目別

単位：頭（環境他：件）

		検査頭数	のべ検査頭数	血液一般検査 (レビージェル検査を含む)	細菌検査	理化学検査	病理検査	その他の検査
と畜場法に基づく検査	牛	125	164	117	20	25	2	
	とく	1	1	1				
	馬	1	2	1		1		
	豚	51	57	3	47	5	2	
	めん羊	—	—					
	山 羊	—	—					
	小計	178	224	122	67	31	4	—
調査研究	牛	192	193		155	5	8	25
	とく	—	—					
	馬	—	—					
	豚	122	122		117	2	3	
	めん羊	2	2				2	
	山 羊	—	—					
	その他	52	62		62			
	小計	368	379	—	334	7	13	25
環 境			—					
合 計		546	603	122	401	38	17	25

(2) 疾病別

	総 数	細菌学的検査				理化学的検査			病理・寄生虫・ウイルス検査			
		敗 血 症	膿 毒 症	豚 丹 毒	そ の 他	黄 疸	尿 毒 症	そ の 他	腫 瘍	白 血 病	トラ キズ ソマ プ病	そ の 他
総数	102 (22)	41 (8)	17 (10)	9 (1)	— (—)	5 (—)	26 (1)	— (—)	— (—)	2 (2)	— (—)	2 (—)
牛	47 (5)	18 (1)	2 (1)			4	21 (1)			2 (2)		
とく	— (—)											
馬	1 (—)					1						
豚	54 (17)	23 (7)	15 (9)	9 (1)			5					2
めん羊	— (—)											
山羊	— (—)											

( )の数字は禁止又は廃棄した頭数 (内書)

第 6 表 動物用医薬品等の残留検査実施状況 (畜種・検査項目別)

令和元年度  
上田食肉衛生検査所  
単位：件

		総 数	乳 牛 繁 殖	乳 牛 肥 育	肉 牛 繁 殖	肉 牛 肥 育	牛 育	とく	馬	豚 繁 殖	豚 肥 育	めん羊	山羊	食鳥
病 菌 性 物 質	抗 検 査 頭 数	172	96	1	3	21			1	6	44			
	検 体 数	簡 易	172	96	1	3	21		1	6	44			
		定 性・定 量	4	2			2							
	畜 質	腎	2	1			1							
陽 性 数		—												
モ ニ タ リ ン グ	抗 検 査 頭 数	20				8					12			
	検 体 数	簡 易	13				6				7			
		定 性・定 量	7				2				5			
	物 質	腎	—											
陽 性 数		—												
そ の 他	検 査 頭 数	—												
	陽 性 数	—												
検 査 頭 数 合 計		192	96	1	3	29	—	1	6	56	—	—	—	
処 分 物 質 頭 数	ペニシリン系	—												
	テトラサイクリン系	—												
	マクロライド系	—												
	アミノグリコシド系	—												
	他の抗生物質	—												
	サルファ剤	—												
	他の合成抗菌剤	—												
	その他	—												
そ の 他	—													
合 計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
平 成 30 年 度	検 査 頭 数	218	99	11	3	35	1	1	12	56				
	処 分 頭 数	—												
	全 部 廃 棄 頭 数 <sup>※</sup>	—												

※：処分頭数の内書

第 7 表 時間外と畜検査頭数 (畜種・月別)

	総数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平成 30年度	平成 29年度
総数	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
牛	肉用	- (-)													
	乳用	- (-)													
とく	- (-)														
馬	- (-)														
豚	- (-)														
めん羊	- (-)														
山羊	- (-)														
平成30年度	- (-)														
平成29年度	- (-)														

( )内の数字は切迫と畜頭数(内書)



第 8 表 伝達性海綿状脳症検査実施状況

		総数	牛		めん羊		山羊			
			症状を呈する牛 <sup>※1</sup>	その他の牛 <sup>※2</sup>	TSE疑いのめん羊 <sup>※3</sup>	その他のめん羊 <sup>※4</sup>	TSE疑いの山羊 <sup>※3</sup>	その他の山羊 <sup>※4</sup>		
スクリーニング検査	総数	1	1	1	—	—	—	—	—	—
	陰性数	1	1	1		—		—		
	陽性数	—	—			—		—		
確定診断	陽性数	—	—			—		—		

- ※1 生後24か月齢以上の牛のうち、生体検査において、原因不明の運動障害、知覚障害、反射異常、意識障害等の何らかの神経症状又は全身症状(事故による骨折、関節炎、熱射病等による起立不能等症状の原因が明らかな牛は除く。)を示す牛
- ※2 検査を実施した具体的な理由( )
- ※3 生体検査において、運動障害、知覚障害、反射又は意識障害等の神経症状が疑われたもの及び全身症状を呈するめん羊・山羊
- ※4 生体検査において、削瘦、被毛粗剛、脱毛、そう痒症、関節炎、異常行動、運動失調等の臨床症状を呈するめん羊・山羊

第 9 表 動物由来感染症実態調査実施状況（検査項目・検体別）

検査所					陽性の内容
検査項目			検体数	陽性数	
腸管出血性大腸菌	牛	枝肉	252	—	
		肝臓	60	—	
		腸内容物	120	1	0111:H-(VT1) (1)
		体表			
	馬	枝肉			
		腸内容物			
		体表			
	緬羊	枝肉			
		腸内容物			
		体表			
	豚	枝肉			
		腸内容物			
		体表			
	食鳥	と体			
		腸内容物			
環境	と畜場内	7	—		
	食鳥処理場内				
カンピロバクター	牛	腸内容物	21	6	<i>C. coli</i> (4)、 <i>C. jejuni</i> (2)
		胆汁	21	3	<i>C. jejuni</i> (3)
	食鳥	と体	49	4	<i>C. jejuni</i> (4)
		肝臓・腸内容物	4	3	<i>C. jejuni</i> (3)
	環境	食鳥処理場内	13	4	<i>C. jejuni</i> (4)
サルモネラ属菌	牛	枝肉	62	—	
		肝臓			
		腸内容物	25	—	
	馬	枝肉			
		肝臓			
	豚	枝肉	36	—	
		腸内容物	29	—	
	食鳥	と体	46	—	
		肝臓・腸内容物	4	—	
環境	と畜場内	5	—		
	食鳥処理場内	8	1	<i>S. enterica</i> 04群 (1)	
黄色ブドウ球菌	食鳥	と体	46	—	
		肝臓・腸内容物	4	—	
	環境	食鳥処理場内	8	—	
糞便系大腸菌群	牛	枝肉	55	6	
		肝臓			
	馬	枝肉			
		肝臓			
	環境	と畜場内			
合 計			875	28	

※ 腸管出血性大腸菌は、0157、026、0111を対象としたスクリーニング検査を行い、分離された菌株について、血清型等を詳細に検査した。検体数は、延べ検体数。

## 2 松本食肉衛生検査所

第 1 表 と畜検査頭数（畜種・月・と畜場別）

単位：頭

	区分	総数	牛		とく	馬		豚	めん羊		山羊		
			乳用	肉用		1才以上	1才未満		1才以上	1才未満	1才以上	1才未満	
総数	松本畜試	64,910	3,697	1,123	2,574	7	26	0	60,919	226	5	7	23
	合計	0	—	—	—	—	—	—	0	—	—	—	—
		64,910	3,697	1,123	2,574	7	26	0	60,919	226	5	7	23
4月	松本畜試	5,818	359	118	241		1		5,428	28		2	
	小計	—	—	—	—		—	—	—	—	—	—	—
		5,818	359	118	241		1		5,428	28		2	
5月	松本畜試	5,215	284	95	189	1	1		4,908	21			
	小計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		5,215	284	95	189	1	1		4,908	21			
6月	松本畜試	4,415	264	77	187		3		4,129	16	1	2	
	小計	—	—	—	—		—	—	—	—	—	—	—
		4,415	264	77	187		3		4,129	16	1	2	
7月	松本畜試	5,260	411	103	308	1	2		4,823	23			
	小計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		5,260	411	103	308	1	2		4,823	23			
8月	松本畜試	4,907	256	81	175	1	6		4,624	20			
	小計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		4,907	256	81	175	1	6		4,624	20			
9月	松本畜試	5,127	278	106	172	1	6		4,815	20			7
	小計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		5,127	278	106	172	1	6		4,815	20			7
10月	松本畜試	6,424	319	114	205		2		6,076	20	1	1	5
	小計	—	—	—	—		—	—	—	—	—	—	—
		6,424	319	114	205		2		6,076	20	1	1	5
11月	松本畜試	5,489	353	100	253	1	4		5,107	18	1		5
	小計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		5,489	353	100	253	1	4		5,107	18	1		5
12月	松本畜試	6,072	364	97	267				5,690	18			
	小計	—	—	—	—				—	—	—	—	—
		6,072	364	97	267				5,690	18			
1月	松本畜試	5,716	282	79	203	2	1		5,411	15			5
	小計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		5,716	282	79	203	2	1		5,411	15			5
2月	松本畜試	5,079	266	79	187				4,799	10	2	2	
	小計	—	—	—	—				—	—	—	—	—
		5,079	266	79	187				4,799	10	2	2	
3月	松本畜試	5,388	261	74	187				5,109	17			1
	小計	—	—	—	—				—	—	—	—	—
		5,388	261	74	187				5,109	17			1
平成30年度	松本畜試	71,386	3,853	1,187	2,666	6	34		67,253	191	12	10	27
	小計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		71,386	3,853	1,187	2,666	6	34		67,253	191	12	10	27
平成29年度	松本畜試	74,326	4,015	1,279	2,736	6	31		70,059	190	11	3	11
	小計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		74,326	4,015	1,279	2,736	6	31		70,059	190	11	3	11

第 2 表 獣畜のとさつ解体禁止又は廃棄した件数（畜種・原因・処分方法別）

単位：件

	実 頭 数	総 数	炭 疽	豚 じん 麻疹 型		丹 関 節 炎 型	毒 敗 血 症 型	そ の 他 の 細 菌 病	ト キ ソ プ ラ ズ マ 病	そ の 他 の 原 虫 病	ジ ス ト マ 病	そ の 他 の 寄 生 虫 病	膿 毒 症	敗 血 症	尿 毒 症	黄 疸	水 腫	腫 瘍	白 血 病	炎 産 物 に よ る 汚 染 症	変 性 又 は 萎 縮	そ の 他
総 数	64,910	57,443	—	—	2	2	9	—	—	5	677	24	95	6	—	110	383	18	48,703	1,328	6,081	
合 計	正 常	14,827	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	禁 止	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	全部廃棄	153	153	—	—	2	2	—	—	—	—	—	24	95	6	—	4	18	2	—	—	
	一部廃棄	49,930	57,290	—	—	—	—	9	—	5	677	—	—	—	—	110	379	—	48,701	1,328	6,081	
牛	正 常	19	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	禁 止	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	全部廃棄	38	38	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8	6	3	—	2	18	1	—	—	
	一部廃棄	3,640	6,248	—	—	—	—	9	—	5	10	—	—	—	—	94	359	—	3,619	329	1,823	
と く	正 常	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	禁 止	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	全部廃棄	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	
一部廃棄	6	9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	6	—	2		
馬	正 常	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	禁 止	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	全部廃棄	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
一部廃棄	24	33	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1	1	24	1	5		
豚	正 常	14,593	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	禁 止	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	全部廃棄	113	113	—	—	2	2	—	—	—	—	—	16	87	3	—	2	—	1	—	—	
一部廃棄	46,213	50,948	—	—	—	—	—	—	—	—	666	—	—	—	—	15	17	45,011	992	4,247		
めん 羊	正 常	187	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	禁 止	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	全部廃棄	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	
一部廃棄	43	46	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	38	4	3		
山 羊	正 常	26	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	禁 止	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	全部廃棄	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
一部廃棄	4	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	2	1		
平 成 30 年 度	正 常	21,336	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	禁 止	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	
	全部廃棄	119	119	—	—	4	—	—	—	—	—	—	31	57	4	2	5	15	1	—	—	
	一部廃棄	49,929	57,353	—	—	—	—	7	—	10	1,004	—	—	—	—	1	79	353	48,120	1,218	6,561	
平 成 29 年 度	正 常	24,273	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	禁 止	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	全部廃棄	180	180	—	—	4	82	4	—	—	—	—	35	39	3	—	5	8	—	—	—	
	一部廃棄	49,873	57,973	—	—	—	—	5	—	11	2,011	—	—	—	—	2	140	375	48,014	1,496	5,919	

第 3 表 牛の主たる原因別一部廃棄処分の内訳

単位：件

総 数		18,382				
消化器系	口 腔 内 異 常	44	泌尿生殖器系	腎 炎	243	
	胃 炎	3,740		膀胱炎・尿道炎	263	
	胃 潰 瘍	777		尿 石 症	217	
	第1胃パラケトージス	978		子 宮 内 膜 炎	177	
	鼓 脹 症	6		乳 房 炎	225	
	食 滞	12		そ の 他 の 疾 病	30	
	胃 弛 張	16		運動器系	筋・皮下膿瘍	87
	小 腸 炎	1,081			筋 炎	304
	大 腸 炎	1,839			筋・腱断裂	54
	[ 腸 う っ 血 ]	[352]			関 節 炎	434
	肝 膿 瘍	170			骨 膿 瘍	5
	鋸 屑 肝	101			骨 折	26
	肝 包 膜 炎	468			脱 臼	64
	肝 炎	1,014			蹄 炎	22
	肝 富 脈 斑	316			そ の 他 の 炎 症	12
	退 色 肝	272			そ の 他 の 疾 病	38
	肝 う っ 血	28		神 經 系	そ の 他 の 炎 症	1
	胆 管 炎・胆 嚢 炎	53		感 覚 器	そ の 他 の 炎 症	
	腹 膜 炎	68		奇形	へ ル ニ ア	4
	そ の 他 の 炎 症	2	奇 形		96	
そ の 他 の 変 性	4	細菌病	放 線 菌 病	7		
そ の 他 の 疾 病	8		そ の 他 の 細 菌 病	2		
循環器系	心 内 膜 炎	6	寄生虫病	原 虫 病		
	物 質 沈 着	7		肝 蛭 症		
	心 内 膜 異 常	245		そ の 他 の 吸 虫 症	5	
	心 外 膜 炎	337		線 虫 症		
	心 筋 炎	268	無 鉤 嚢 虫 症	2		
	心 筋 異 常	7	そ の 他 の 条 虫 症	8		
	脾 炎	8	腫瘍	腫 瘍	360	
	動 静 脈 炎		外傷	外 傷	345	
	リンパ節炎	23	水腫	水 腫	98	
	そ の 他 の 変 性		その他	脂 肪 壊 死	554	
呼吸器系	肺 膿 瘍	30		黄 色 素 沈 着 症	31	
	肺 炎	290		中 毒		
	水 腫	1		難 産	7	
	肺 気 腫	422		起 立 不 能 症	80	
	胸 膜 炎	1,861		熱 ・ 日 射 病		
	横 隔 膜 炎	73	そ の 他 の 炎 症	3		
そ の 他 の 炎 症	1	そ の 他 の 疾 病	2			

※ 総数には、[ ]印で示したと殺性変化等の件数は計上されていません。

第 4 表 豚の主たる原因別一部廃棄処分の内訳

単位：件

総 数		78,972			
消化器系	口 腔 内 異 常	4	泌尿生殖器系	腎 炎	444
	胃 炎	18		膀胱炎・尿道炎	640
	小 腸 炎	908		子宮内膜炎	882
	腸 気 腫	37		乳 房 炎	40
	大 腸 炎	2,887	運動器系	その他の疾病	228
	[ 腸 う っ 血 ]	[103]		筋・皮下膿瘍	1,526
	肝 膿 瘍	18		筋 炎	29
	肝 結 節	8,195		筋・腱断裂	8
	肝 包 膜 炎	1,402		関 節 炎	314
	肝 炎	306		骨 膿 瘍	43
	退 色 肝	902		骨 折	114
	肝 う っ 血	87		脱 臼	2
	胆 管 炎・胆 嚢 炎	1		蹄 炎	5
	腹 膜 炎	576		その他の炎症	13
	その他の炎症	16		その他の疾病	
	その他の変性病			神経系	その他の炎症
	その他の疾病	65	感覚器	その他の炎症	
			奇形	ヘルニア	1,173
				奇 形	1,642
循環器系	心 内 膜 炎	7	細菌病	放 線 菌 病	
	心 内 膜 異 常	284		その他の細菌病	
	心 外 膜 炎	2,516	非定型抗酸菌症	256	
	心 筋 炎	8	寄生虫病	原 虫 病	
	心 筋 異 常	4		吸 虫 症	
	脾 炎	17		線 虫 症	666
	動 静 脈 炎			囊 中 症	
	リンパ節炎	574	その他の条虫症		
	その他の変性病		腫瘍	腫 瘍	17
	その他の疾病	37	外傷	外 傷	260
		水腫	水 腫	14	
呼吸器系	鼻 炎	1	その他	尾 咬 傷	62
	M P S	38,178		黄 疸	
	肺 膿 瘍	323		色 素 沈 着 症	3
	肺 炎	425		中 毒 症	
	胸 膜 肺 炎	547		難 産 症	
	肺 気 腫	4		起 立 不 能 症	41
	胸 膜 炎	11,562		熱・日射病	
	横 隔 膜 炎	18		その他の炎症	
その他の炎症		その他の疾病	623		

※ 総数には、[ ]印で示したと殺性変化等の件数は計上されていません。

第 5 表 精密検査実施数（畜種・検査項目・疾病別）

令和元年度  
松本食肉衛生検査所

(1) 検査項目別

単位：頭（環境他：件）

		検査頭数	のべ検査頭数	血液一般検査 (レビージェル検査を含む)	細菌検査	理化学検査	病理検査	その他の検査
と畜場法に基づく検査	牛	432	884	411	31	419	23	
	とく馬	2	5	2	1	2		
	豚	190	207	8	163	31	5	
	めん羊	5	6	2	2	2		
	山羊	1	2	1		1		
	小計	630	1,104	424	197	455	28	—
調査研究	牛	101	101		99		2	
	とく馬	—	—					
	豚	72	72		70		2	
	めん羊	—	—					
	山羊	—	—					
	その他	—	—					
小計	173	173	—	169	—	4	—	
環境		—						
合計	803	1,277	424	366	455	32	—	



(2) 疾病別

	総 数	細菌学的検査				理化学的検査			病理・寄生虫・ウイルス検査			
		敗 血 症	膿 毒 症	豚 丹 毒	そ の 他	黄 疸	尿 毒 症	そ の 他	腫 瘍	白 血 病	トラ キズ ソマ プ病	そ の 他
総数	954 (153)	118 (95)	44 (24)	123 (4)	— (—)	191 (—)	449 (6)	— (—)	6 (4)	19 (18)	— (—)	4 (2)
牛	652 (38)	17 (6)	14 (8)			184	413 (3)		2 (2)	19 (18)		3 (1)
とく馬	4 (1)	1 (1)				1	2					
豚	— (—)											
めん羊	293 (113)	98 (87)	30 (16)	123 (4)		6	31 (3)		4 (2)			1 (1)
山羊	4 (1)	2 (1)					2					
	1 (—)						1					

( )の数字は禁止又は廃棄した頭数(内書)

第 6 表 動物用医薬品等の残留検査実施状況 (畜種・検査項目別)

		総数	乳牛 繁殖	牛 肥育	乳牛 繁殖	牛 肥育	肉牛 繁殖	肉牛 肥育	とく	馬	豚 繁殖	豚 肥育	めん羊	山羊	食鳥	
病 菌 性 物 質	検査頭数	596	353	5	22	32	2				16	161	4	1		
	検体数	簡易	606	361	5	22	32	2				18	161	4	1	
		定性・定量	—													
	畜 質	腎	1	1												
陽性数		筋肉	—													
		その他	—													
モ ニ タ リ ン グ	検査頭数	54	8		1	9					4	32				
	検体数	簡易	63	9		1	11					4	38			
		定性・定量	—													
	その 他	腎	—													
陽性数		—														
検査頭数合計		650	361	5	23	41	2	—		20	193	4	1	—		
処 分 性 物 質 頭 数	ペニシリン系	—														
	テトラサイクリン系	—														
	マクロライド系	—														
	アミノグリコシド系	—														
	他の抗生物質	—														
	サルファ剤	—														
	他の合成抗菌剤	—														
	その他	—														
その 他	—															
合 計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
平 成 30 年 度	検査頭数	573	326	1	19	43	4	2		27	150	1				
	処分頭数	—														
	全部廃棄頭数※	—														

※：処分頭数の内書

第 7 表 時間外と畜検査頭数 (畜種・月別)

	総数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平成 30年度	平成 29年度
総数	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	2 (-)	- (-)
牛	肉用	- (-)													
	乳用	- (-)													
とく	- (-)														
馬	- (-)													2	
豚	- (-)														
めん羊	- (-)														
山羊	- (-)														
平成30年度	2 (-)								2						
平成29年度	- (-)														

( )内の数字は切迫と畜頭数(内書)

第 8 表 伝達性海綿状脳症検査実施状況

		総数	牛		めん羊		山羊			
			症状を呈する牛※1	その他の牛※2	TSE疑いのめん羊※3	その他のめん羊※4	TSE疑いの山羊※3	その他の山羊※4		
スクリーニング検査	総数	1	1	1	-	-	-	-	-	-
	陰性数	1	1	1		-		-		
	陽性数	-	-			-		-		
確定診断	陽性数	-	-			-		-		

- ※1 生後24か月齢以上の牛のうち、生体検査において、原因不明の運動障害、知覚障害、反射異常、意識障害等の何らかの神経症状又は全身症状(事故による骨折、関節炎、熱射病等による起立不能等症状の原因が明らかな牛は除く。)を示す牛
- ※2 検査を実施した具体的な理由( )
- ※3 生体検査において、運動障害、知覚障害、反射又は意識障害等の神経症状が疑われたもの及び全身症状を呈するめん羊・山羊
- ※4 生体検査において、削瘦、被毛粗剛、脱毛、そう痒症、関節炎、異常行動、運動失調等の臨床症状を呈するめん羊・山羊

第 9 表 動物由来感染症実態調査実施状況（検査項目・検体別）

検査所				陽性の内容	
検査項目		検体数	陽性数		
腸管出血性大腸菌	牛	枝肉	540	—	
		肝臓	48	—	
		腸内容物	12	—	
	馬	体表			
		枝肉			
		腸内容物			
	緬羊	体表			
		枝肉			
		腸内容物			
	豚	体表			
		枝肉			
		腸内容物			
	食鳥	と体			
		腸内容物			
	環境	と畜場内			
食鳥処理場内					
カンピロバクター	牛	腸内容物	23	11	<i>C. jejuni</i> (4), <i>C. coli</i> (7)
		胆汁	23	10	<i>C. jejuni</i> (3), <i>C. coli</i> (7)
	食鳥	と体			
		肝臓・腸内容物			
環境	食鳥処理場内				
サルモネラ属菌	牛	枝肉	98	—	
		肝臓			
		腸内容物			
	馬	枝肉			
		肝臓			
	豚	枝肉	140	—	
		腸内容物			
	食鳥	と体			
		肝臓・腸内容物			
環境	と畜場内				
	食鳥処理場内				
黄色ブドウ球菌	食鳥	と体			
		肝臓・腸内容物			
環境	食鳥処理場内				
糞便系大腸菌群	牛	枝肉	40	2	
		肝臓			
	馬	枝肉			
		肝臓			
環境	と畜場内				
合計			924	23	

※ 腸管出血性大腸菌は、O157、O26、O111を対象としたスクリーニング検査を行い、分離された菌株について、血清型等を詳細に検査した。検体数は、延べ検体数。

### 3 長野食肉衛生検査所

第 1 表 と畜検査頭数（畜種・月・と畜場別）

単位：頭

	区分	総数	牛		とく	馬		豚	めん羊		山羊		
			乳用	肉用		1才以上	1才未満		1才以上	1才未満	1才以上	1才未満	
総数	北信	46,714	1,671	158	1,513	2	12	—	45,015	11	3	—	—
4月	北信	4,677	156	10	146		1		4,520				
5月	北信	4,357	116	13	103		1		4,240				
6月	北信	3,204	114	14	100				3,087	3			
7月	北信	3,562	165	15	150		1		3,396				
8月	北信	3,216	130	14	116		2		3,082	2			
9月	北信	3,953	131	20	111	1	1		3,817	3			
10月	北信	4,235	141	15	126				4,094				
11月	北信	3,848	159	13	146		1		3,685	1	2		
12月	北信	4,290	219	13	206		2		4,068		1		
1月	北信	3,840	111	14	97		1		3,726	2			
2月	北信	3,512	95	7	88	1	1		3,415				
3月	北信	4,020	134	10	124		1		3,885				
平成30年度	北信	52,092	1,669	132	1,537	2	14		50,397	9	1		
平成29年度	北信	52,963	1,421	126	1,295	2	14		51,503	19		3	1

第 2 表 獣畜のとさつ解体禁止又は廃棄した件数（畜種・原因・処分方法別）

長野食肉衛生検査所

単位：件

	実 頭 数	総 数	炭 疽	豚			その 他の 細菌 病	ト キ ソ プ ラ ズ マ 病	その 他の 原 虫 病	ジ ス ト マ 病	その 他の 寄 生 虫 病	膿 毒 症	敗 血 症	尿 毒 症	黄 疸	水 腫	腫 瘍	白 血 病	炎 症 又 は 汚 染	産 物 に よ る 汚 染	変 性 又 は 萎 縮	そ の 他
				豚 じん 麻 疹 型	丹 関 節 炎 型	毒 敗 血 症 型																
総 数	46,714	40,347	—	—	—	—	1	—	—	3	3	5	4	—	1	7	—	2	37,732	701	1,888	
合 計	正 常	8,356	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	禁 止	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	全部廃棄	11	11	—	—	—	—	—	—	—	—	5	4	—	—	—	—	2	—	—	—	
	一部廃棄	38,347	40,336	—	—	—	1	—	—	3	3	—	—	—	1	7	—	—	37,732	701	1,888	
牛	正 常	133	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	禁 止	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	全部廃棄	3	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	2	—	—	—	
	一部廃棄	1,535	2,034	—	—	—	1	—	—	3	2	—	—	—	1	—	—	—	1,494	38	495	
と く	正 常	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	禁 止	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	全部廃棄	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
馬	正 常	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	禁 止	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	全部廃棄	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
豚	正 常	8,205	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	禁 止	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	全部廃棄	8	8	—	—	—	—	—	—	—	—	5	3	—	—	—	—	—	—	—	—	
めん 羊	正 常	13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	禁 止	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	全部廃棄	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
山 羊	正 常	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	禁 止	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	全部廃棄	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
平 成 30 年 度	正 常	8,131	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	禁 止	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	全部廃棄	43	43	—	1	—	—	—	—	—	—	15	26	—	—	—	—	—	—	—	1	
平 成 29 年 度	正 常	6,886	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	禁 止	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	全部廃棄	71	71	—	—	—	—	—	—	—	—	39	29	—	—	—	1	1	—	—	—	
一部廃棄	46,005	48,997	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	20	6	—	45,446	1,227	2,283		



第 3 表 牛の主たる原因別一部廃棄処分の内訳

単位：件

総 数		3,966				
消化器系	口 腔 内 異 常	1	泌尿生殖器系	腎 炎	19	
	胃 炎	311		膀胱炎・尿道炎	142	
	胃 潰 瘍	372		尿 石 症	101	
	第1胃パラケトージス	50		子 宮 内 膜 炎	2	
	鼓 脹 症			乳 房 炎	24	
	食 滞	1		そ の 他 の 疾 病	4	
	胃 弛 張	3		運動器系	筋・皮下膿瘍	10
	小 腸 炎	681			筋 炎	63
	大 腸 炎	574			筋・腱断裂	
	[ 腸 う っ 血 ]	[1]			関 節 炎	86
	肝 膿 瘍	89			骨 膿 瘍	
	鋸 屑 肝	86			骨 折	1
	肝 包 膜 炎	133			脱 臼	6
	肝 炎	28			蹄 炎	1
	肝 富 脈 斑	46			そ の 他 の 炎 症	4
	退 色 肝	26			そ の 他 の 疾 病	
	肝 う っ 血	12		神経系	そ の 他 の 炎 症	
	胆 管 炎・胆 嚢 炎	5		感覚器	そ の 他 の 炎 症	
	腹 膜 炎	18		奇形	へ ル ニ ア 奇 形	1
	そ の 他 の 炎 症			細菌病	放 線 菌 病	1
そ の 他 の 変 性		寄生虫病	そ の 他 の 細 菌 病			
そ の 他 の 疾 病	2		原 虫 病			
循環器系	心 内 膜 炎			肝 蛭 症		
	心 内 膜 異 常		3	そ の 他 の 吸 虫 症	3	
	心 外 膜 炎		20	線 虫 症		
	心 筋 炎			無 鉤 嚢 虫 症		
	心 筋 異 常			そ の 他 の 条 虫 症	2	
	脾 炎		腫瘍	腫 瘍		
	動 静 脈 炎		外傷	外 傷	7	
リンパ節炎	3	水腫	水 腫			
そ の 他 の 変 性		その他	脂 肪 壊 死	315		
呼吸器系	肺 膿 瘍		8	黄 色 素 沈 着 症	1	
	肺 炎		418	中 難 産		
	水 腫			起 立 不 能 症	25	
	肺 気 腫		29	熱 ・ 日 射 病		
	胸 膜 炎		171	そ の 他 の 炎 症		
	横 隔 膜 炎		57	そ の 他 の 疾 病	1	
	そ の 他 の 炎 症					

※ 総数には、[ ]印で示したと殺性変化等の件数は計上されていません。

第 4 表 豚の主たる原因別一部廃棄処分の内訳

単位：件

総 数		55,568					
消化器系	口 腔 内 異 常			泌尿生殖器系	腎 炎	305	
	胃 炎				膀胱炎・尿道炎	195	
	小 腸 炎	282			子宮内膜炎	9	
	腸 気 腫	23			乳 房 炎	9	
	大 腸 炎	329			そ の 他 の 疾 病	27	
	[ 腸 う っ 血 ]	[42]			運動器系	筋・皮下膿瘍	747
	肝 膿 瘍	17				筋 炎	129
	肝 結 節	3,759				筋・腱断裂	81
	肝 包 膜 炎	1,488				関 節 炎	134
	肝 炎	150				骨 膿 瘍	56
	退 色 肝	566				骨 折	86
	肝 う っ 血	99				脱臼	
	胆 管 炎・胆 嚢 炎					蹄 炎	3
	腹 膜 炎	271				そ の 他 の 炎 症	19
	そ の 他 の 炎 症					そ の 他 の 疾 病	
そ の 他 の 変 性		神 經 系	そ の 他 の 炎 症				
そ の 他 の 疾 病	21	感 覚 器	そ の 他 の 炎 症				
循環器系	心 内 膜 炎	4	細菌病	放 線 菌 病			
	心 内 膜 異 常	11		そ の 他 の 細 菌 病			
	心 外 膜 炎	2,178	非定型抗酸菌症	550			
	心 筋 炎		寄生虫病	原 虫 病			
	心 筋 異 常			吸 虫 症			
	脾 炎	3		線 虫 症	1		
	動 静 脈 炎		囊 中 症				
	リンパ節炎	236	そ の 他 の 条 虫 症				
そ の 他 の 変 性		腫瘍	腫 瘍				
そ の 他 の 疾 病	6	外傷	外 傷	262			
呼吸器系	鼻 炎		水腫	水 腫	7		
	M P S	25,409	その他	尾 咬 傷	186		
	肺 膿 瘍	145		黄 疸 症			
	肺 炎	366		色 素 沈 着 症			
	胸 膜 肺 炎	791		中 毒 症			
	肺 気 腫			難 産 症			
	胸 膜 炎	15,578		起 立 不 能 症	132		
	横 隔 膜 炎			熱・日射病			
そ の 他 の 炎 症		そ の 他 の 炎 症					
		そ の 他 の 疾 病	275				

※ 総数には、[ ]印で示したと殺性変化等の件数は計上されていません。

第 5 表 精密検査実施数（畜種・検査項目・疾病別）

令和元年度  
長野食肉衛生検査所

(1) 検査項目別

単位：頭（環境他：件）

		検査頭数	のべ検査頭数	血液一般検査 (レビージェル検査を含む)	細菌検査	理化学検査	病理検査	その他の検査
と畜場法に基づく検査	牛	80	84	78	2	2	2	
	とく馬	1	1	1				
	豚	22	22	3	16		3	
	めん羊	—	—					
	山羊	—	—					
	小計	103	107	82	18	2	5	—
調査研究	牛	47	47		31			16
	とく馬	—	—					
	豚	55	55		55			
	めん羊	—	—					
	山羊	—	—					
	その他	15	15		15			
小計	117	117	—	101	—	—	16	
環境		—						
合計	220	224	82	119	2	5	16	

(2) 疾病別

	総 数	細菌学的検査				理化学的検査			病理・寄生虫・ウイルス検査			
		敗 血 症	膿 毒 症	豚 丹 毒	そ の 他	黄 疸	尿 毒 症	そ の 他	腫 瘍	白 血 病	トラ キズ ソマ プ病	そ の 他
総数	25 (9)	11 (4)	5 (3)	2 (-)	- (-)	1 (-)	1 (-)	- (-)	- (-)	2 (2)	- (-)	3 (-)
牛	6 (3)	2 (1)				1	1			2 (2)		
とく	- (-)											
馬	- (-)											
豚	19 (6)	9 (3)	5 (3)	2								3
めん羊	- (-)											
山羊	- (-)											

( )の数字は禁止又は廃棄した頭数 (内書)

第 6 表 動物用医薬品等の残留検査実施状況 (畜種・検査項目別)

令和元年度  
長野食肉衛生検査所  
単位：件

		総数	乳牛 繁殖	牛肥	乳牛 生育	肉牛 繁殖	牛肥	肉牛 生育	とく	馬	豚 繁殖	豚 肥育	めん羊	山羊	食鳥
病 菌 性 物 質	検査頭数	81	58			1		22							
	検体数	簡易	83	60			1		22						
		定性・定量	2	2											
	畜質	腎	1	1											
陽性数															
モ ニ タ リ ン グ	検査頭数	44						11				33			
	検体数	簡易	52					14				38			
		定性・定量	—												
	物質	腎	—												
陽性数															
その他	筋肉	—													
	その他	—													
その他	検査頭数	—													
	陽性数	—													
検査頭数合計		125	58	—	—	1	—	33	—	—	—	33	—	—	—
処 分 性 物 質 頭 数	ペニシリン系	—													
	テトラサイクリン系	—													
	マクロライド系	—													
	アミノグリコシド系	—													
	他の抗生物質	—													
	サルファ剤	—													
	他の合成抗菌剤	—													
	その他	—													
その他	—														
合計	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
平成 30 年度	検査頭数	212	57					29			14	112			
	処分頭数	—													
	全部廃棄頭数※	—													

※：処分頭数の内書

第 7 表 時間外と畜検査頭数 (畜種・月別)

	総数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平成 30年度	平成 29年度
総数	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
牛	肉用	- (-)													
	乳用	- (-)													
とく	- (-)														
馬	- (-)														
豚	- (-)														
めん羊	- (-)														
山羊	- (-)														
平成30年度	- (-)														
平成29年度	- (-)														

( )内の数字は切迫と畜頭数 (内書)

第 8 表 伝達性海綿状脳症検査実施状況

		総数	牛		めん羊		山羊			
			症状を呈する牛 <sup>※1</sup>	その他の牛 <sup>※2</sup>	TSE疑いのめん羊 <sup>※3</sup>	その他のめん羊 <sup>※4</sup>	TSE疑いの山羊 <sup>※3</sup>	その他の山羊 <sup>※4</sup>		
スクリーニング検査	総数	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	陰性数	—	—			—		—		
	陽性数	—	—			—		—		
確定診断	陽性数	—	—			—		—		

※1 生後24か月齢以上の牛のうち、生体検査において、原因不明の運動障害、知覚障害、反射異常、意識障害等の何らかの神経症状又は全身症状(事故による骨折、関節炎、熱射病等による起立不能等症状の原因が明らかな牛は除く。)を示す牛

※2 検査を実施した具体的な理由( )

※3 生体検査において、運動障害、知覚障害、反射又は意識障害等の神経症状が疑われたもの及び全身症状を呈するめん羊・山羊

※4 生体検査において、削瘦、被毛粗剛、脱毛、そう痒症、関節炎、異常行動、運動失調等の臨床症状を呈するめん羊・山羊

第 9 表 動物由来感染症実態調査実施状況（検査項目・検体別）

検査所					陽性の内容	
検査項目			検体数	陽性数		
腸管出血性大腸菌	牛	枝肉	132	—		
		肝臓	66	—		
		腸内容物	66	—		
	馬	体表				
		枝肉				
		腸内容物				
	緬羊	体表				
		枝肉				
		腸内容物				
	豚	体表				
		枝肉				
		腸内容物				
	食鳥	と体				
		腸内容物				
	環境	と畜場内				
食鳥処理場内						
カンピロバクター	牛	腸内容物				
		胆汁	31	—		
	食鳥	と体	15	3	<i>C. jejuni</i> (3)	
		肝臓・腸内容物				
環境	食鳥処理場内	6	—			
サルモネラ属菌	牛	枝肉	62	—		
		肝臓				
		腸内容物				
	馬	枝肉				
		肝臓				
	豚	枝肉	110	—		
		腸内容物				
	食鳥	と体	15	—		
		肝臓・腸内容物				
環境	と畜場内					
	食鳥処理場内	6	—			
黄色ブドウ球菌	食鳥	と体	15	4		
		肝臓・腸内容物				
	環境	食鳥処理場内				
糞便系大腸菌群	牛	枝肉	8	—		
		肝臓				
	馬	枝肉				
		肝臓				
	環境	と畜場内				
合 計			532	7		

※ 腸管出血性大腸菌は、0157、026、0111を対象としたスクリーニング検査を行い、分離された菌株について、血清型等を詳細に検査した。検体数は、延べ検体数。



## 第 3 章 食 鳥 檢 查 統 計

第 1 表 認定小規模食鳥処理場確認状況（月・検査所別）

令和元年度

単位：件

			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計		
総 数	処理場数		20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20		
	確認羽数		2,243	2,333	2,198	2,979	2,435	2,761	2,686	3,152	3,262	2,632	2,453	2,673		31,807	
	異常の有無の確認	生体の状況	廃棄														-
		体表の状況	全部廃棄	4	2	2	2	2	1	1	2	6	5	6	4		37
	一部廃棄									2		13	2				17
	体壁の内側面の状況	廃棄	1	1									3		17		22
		内臓の状況	当該臓器のみ廃棄										4	4	3	7	
			内臓全部廃棄														
	廃棄羽数の合計	全部廃棄	5	3	2	2	2	1	1	2	6	8	6	21		59	
		一部廃棄								2		17	6	3	7		35
	施設指導件数				1		1				1	1	2	2	2		10
	依頼検査件数																-
	上 田	処理場数		4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
確認羽数		649	575	564	609	729	690	930	842	981	848	853	917		9,187		
異常の有無の確認		生体の状況	廃棄														-
		体表の状況	全部廃棄	4	2	2	2	2	1	1	2	6	5	6	4		37
一部廃棄										2		13	2				17
体壁の内側面の状況		廃棄	1	1									3		17		22
		内臓の状況	当該臓器のみ廃棄												1	7	
			内臓全部廃棄														
廃棄羽数の合計		全部廃棄	5	3	2	2	2	1	1	2	6	8	6	21		59	
		一部廃棄								2		13	2	1	7		25
施設指導件数				1		1				1	1	2		1		7	
依頼検査件数																-	

単位：件

			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計		
松	処 理 場 数		14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	9,300	
	確 認 羽 数		570	650	700	868	825	802	750	820	880	800	835	800			
	異常の有無の確認	生 体 の 状 況	廃 棄														-
		体 表 の 状 況	全部廃棄														-
	一部廃棄																-
	内 臓 の 状 況	体 壁 の 内 側 面 の 状 況	廃 棄														-
		内 臓 の 状 況	当該臓器のみ廃棄									4	4	2			10
			内臓全部廃棄														
	本	廃 棄 羽 数 の 合 計											4	4	2		10
															1		1
施 設 指 導 件 数																-	
依 頼 検 査 件 数																-	
長	処 理 場 数		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	13,320	
	確 認 羽 数		1,024	1,108	934	1,502	881	1,269	1,006	1,490	1,401	984	765	956			
	異常の有無の確認	生 体 の 状 況	廃 棄														-
		体 表 の 状 況	全部廃棄														-
	一部廃棄																-
	内 臓 の 状 況	体 壁 の 内 側 面 の 状 況	廃 棄														-
		内 臓 の 状 況	当該臓器のみ廃棄														-
			内臓全部廃棄														-
	野	廃 棄 羽 数 の 合 計															-
															1	1	2
施 設 指 導 件 数																-	
依 頼 検 査 件 数																-	

## 第 4 章 リスクコミュニケーション事業

第1表 リスクコミュニケーション事業実施状況

検査所名	実施日	対象者	人数	実施内容
上田	令和元年8月2日	一般	5	食品衛生親子体験事業「豚の誕生から食肉になるまでの過程を説明したDVDの視聴、業務紹介、試験室検査業務の見学・体験」
	令和元年8月19日～20日	学生	4	獣医学生のインターンシップ受入れ（と畜検査業務体験）
	令和2年2月17日～18日	学生	2	獣医学生のインターンシップ受入れ（と畜検査業務体験）
松本	令和元年5月9日	教員	1	一日と畜検査員「食肉衛生検査所事業概要説明、牛・豚のと畜検査の見学・体験及び検査所各検査室の見学」
	令和元年5月21日	行政	2	〃
	令和元年6月18日	行政	2	〃
	令和元年7月10日	医師 行政	1 1	〃
	令和元年7月18日	学生 教員	19 2	〃
	令和元年7月19日	学生 教員	20 2	〃
	令和元年7月22日	学生 教員	21 2	〃
	令和元年7月31日	一般	11	食品衛生親子体験事業「豚の誕生から食肉までの流れのビデオ鑑賞、検査所業務説明、食肉センター・食肉加工工場の見学、検査業務の見学・体験、食中毒予防の学習」
	令和元年8月1日	一般	2	一日と畜検査員「食肉衛生検査所事業概要説明、牛・豚のと畜検査の見学・体験及び検査所各検査室の見学」
	令和元年8月6日	行政	4	〃
	令和元年8月7日	医師 行政	1 1	〃
	令和元年8月9日	行政	5	〃
	令和元年9月2日	一般	7	〃
	令和元年9月18日	医師	1	〃
	令和元年9月19日	学生 教員	9 1	〃
	令和元年10月23日	医師	1	〃
	令和元年10月31日	学生 行政	2 1	〃
	令和元年11月19日	学生 行政	4 1	〃
	令和2年1月15日	医師	1	〃
令和2年2月19日	医師	1	〃	
令和2年3月11日	行政	1	〃	
長野	令和元年8月2日	一般	9	夏休み食品衛生親子体験事業「豚の誕生から食肉になるまでの過程を説明したDVDの視聴、検査所業務の説明、施設見学、検査室検査業務の体験及び手洗いチェッカーを用いた食中毒予防の学習」

## 第 5 章 調 査 研 究 業 績

## 管内と畜場における牛枝肉への過酢酸製剤噴霧の効果検証

上田食肉衛生検査所

○板垣 美歩 荒井 直人

### 1. はじめに

2019年5月、当所管内のAと畜場に併設されたカット工場において、カット牛肉の真空パック品膨張苦情事案が発生した。それまで、Aと畜場では枝肉の消毒等は行われておらず、水道水での洗浄のみであった。この事案は乳酸菌の関与が疑われたものの、汚染経路等原因の特定には至らなかったため、荷受業者からの要請によりAと畜場では、再発防止策として、枝肉洗浄後に牛枝肉への過酢酸製剤の噴霧を同年8月から行っている。

過酢酸製剤は平成28年(2016年)10月に添加物指定された添加物製剤で、殺菌料として用いられる。海外では野菜、果実、食肉、食鳥肉等を殺菌する目的で使用されている。我が国で報告される食肉への使用の多くは食鳥肉に対するものであり、豚枝肉や牛枝肉への消毒効果を報告したものは少ない。

今回、牛枝肉への過酢酸製剤噴霧による殺菌効果を検証したのでその概要を報告する。

### 2. 材料および方法

#### (1) 噴霧方法

過酢酸製剤は、過酢酸製剤 30ml に対し水道水 10 リットルを加え噴霧液を作成していた(過酢酸として 450ppm)。過酢酸製剤の組成は表1のとおりである。牛枝肉への噴霧は手動噴霧器(写真1)を使い、Aと畜場職員により懸肉室で行われている。

表1 過酢酸製剤の組成

酢酸	45%
過酢酸	15%
過酸化水素	5.5%
1-ヒドロキシエチレン-1,1-ジホスフィン酸	0.5%
水	34%



写真1  
手動噴霧器

#### (2) 過酢酸製剤の噴霧量と噴霧時間の調査

噴霧時間の調査は目視で噴霧開始から終了までの時間をストップウォッチで計測した。噴霧量は噴霧開始前と噴霧後に噴霧器の重量を計測し、使用量を噴霧した頭数で割り、算出した。

#### (3) 過酢酸製剤の殺菌効果の検証

ふき取りは最終洗浄後の枝肉について行い、噴霧前は懸肉室において胸部、肛門周囲部及び胸腹部について実施した。また過酢酸噴霧後は噴霧終了後 10 分経過した時点で噴霧前のふき取りと同じ部位

を懸肉室又は冷蔵庫内でふき取った。ふき取り部位は図 1 のとおりである。なお、ふき取りは全て同じ者が行った。ふき取りには滅菌したふきとり用成型ガーゼ(プース)を用い、牛枝肉 100cm<sup>2</sup> を拭き取ったのちプースに滅菌 PBS を 10ml 加え検体とした。検体はペトリフィルム(生菌数測定用 AC プレート、*E. coli* および大腸菌群数測定用 EC プレート、乳酸菌数測定用 LAB プレート、ともに 3M)を用いて EC プレートは 35°C±1°C で 24±2 時間、AC、LAB プレートは 35°C±1°C で 48±3 時間培養後、発育コロニー数をカウントし 1cm<sup>2</sup> あたりの菌数を算出した。

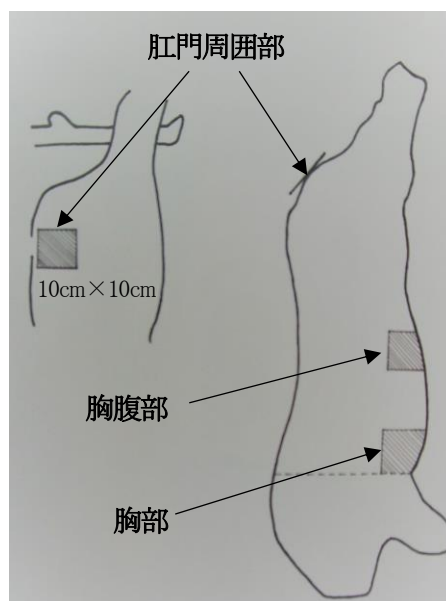


図 1 ふき取り部位

### 3. 結果及び考察

#### (1) 過酢酸製剤の噴霧量と噴霧時間

1 頭当たりの過酢酸製剤の噴霧量は平均 1.99kg であった(1.67~2.3kg/頭、n=8)。また半身あたりの噴霧時間は平均 1 分 31 秒であった(最短 1 分 04 秒、最長 1 分 48 秒、n=16)。枝肉重量が重くなると噴霧時間が長くなり、噴霧量も多くなると想定していたが、枝肉重量と噴霧時間の間に有意な相関は認められず、実際はと畜頭数の増減による当日の 1 時間あたりの処理頭数により左右される印象であった。

枝肉重量が重くなっても枝肉厚が増すのであって、噴霧を受ける表面積の増加は大きくないため、予想したような噴霧時間の差として現れなかったと思われる(図 2)。

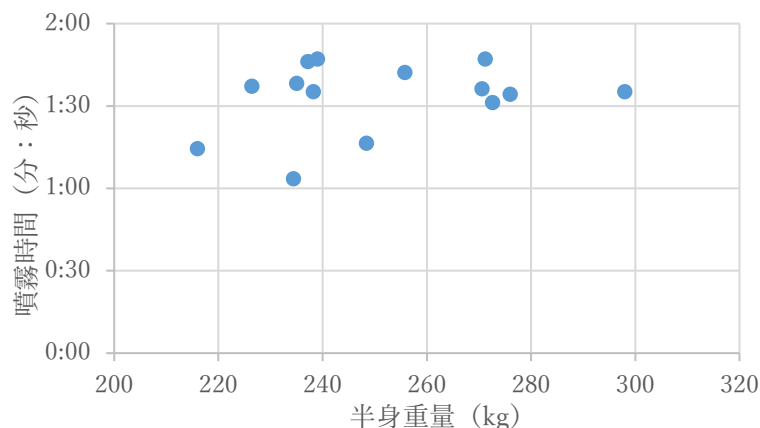


図 2 枝肉重量と噴霧時間の関係



(2) 過酢酸製剤の殺菌効果の検証

過酢酸製剤の噴霧前と噴霧後の一般生菌数の変化は図3のとおりである。

噴霧前後で一般生菌数の平均を比較すると、胸部で  $2.26 \times 10^2 \text{cfu/cm}^2$  から  $1.49 \times 10^1 \text{cfu/cm}^2$  (n=15) に、肛門周囲部で  $4.55 \times 10^1 \text{cfu/cm}^2$  から  $3.69 \times 10^0 \text{cfu/cm}^2$  (n=8) に、胸腹部で  $3.64 \times 10^2 \text{cfu/cm}^2$  から  $1.94 \times 10^1 \text{cfu/cm}^2$  (n=3) と、噴霧後は全ての部位で有意に減少した ( $p < 1\%$ 、図3)。

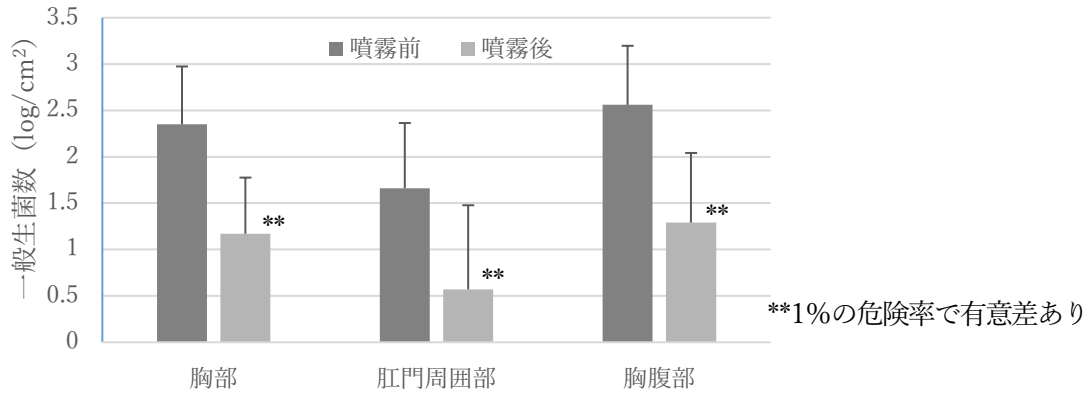


図3 噴霧前後の一般生菌数の比較(平均値)

さらに、今回は同じ部位について噴霧前後の菌数の比較を行っているため、独自に算出した「2回目ふき取り推定値」を用いて検証を行った。「2回目ふき取り推定値」は、無処理の状態と同じ部位を2回ふき取り、1回目ふき取り菌数と2回目ふき取り菌数とを比較し算出した (n=8)。その結果、2回目ふき取り菌数の平均は  $\log(1 \text{ 回目ふき取り菌数}) \times 0.75$  であったことから、この数値を一般生菌数の推定値とした。

2回目ふき取り推定値と実際の噴霧後ふき取り菌数を比較した場合についても、噴霧後にふき取った菌数の方が有意に減少していた (胸部  $p < 1\%$ 、肛門周囲部及び胸腹部  $p < 5\%$ 、図4)。

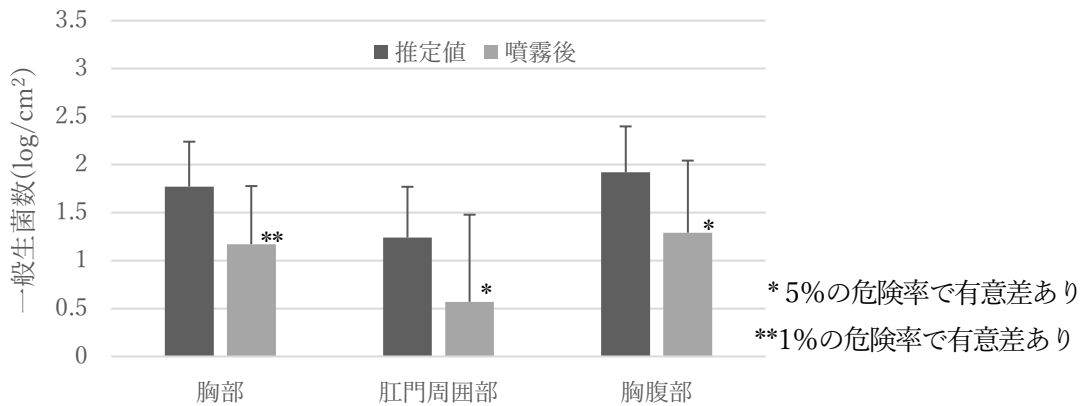


図4 推定値と噴霧後ふき取り値の比較(平均値)

大腸菌群では噴霧前に陽性率が 61.5%であったが、噴霧後は 19.2%となった (n=26,  $p < 1\%$ )。また乳酸菌は噴霧前の陽性率が 90%であったが、噴霧後は 35%となった (n=20,  $p < 1\%$ )。大腸菌群、乳酸菌ともに陽性率が有意に低下し、菌数も減少していた (図5)。なお、データの詳細は文末の表2に示した。

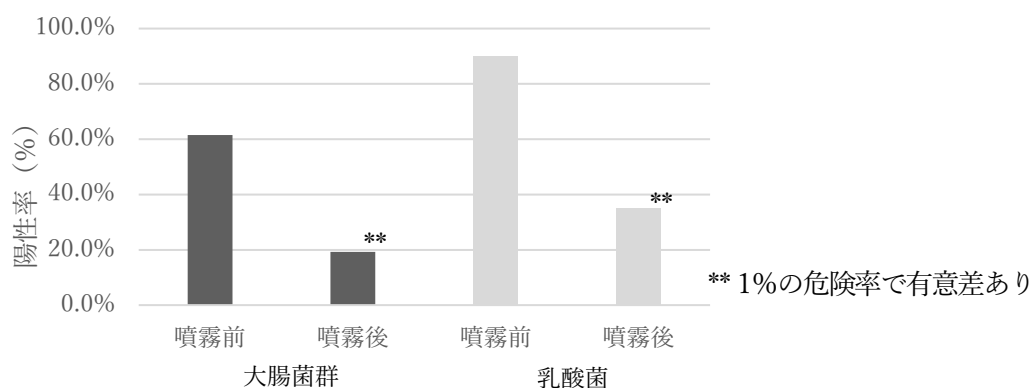


図5 噴霧前後の陽性率の変化

#### 4. まとめ

過酢酸製剤は乳酸菌を含めた細菌に殺菌効果があり、牛枝肉の消毒に有効であることが分かった。今回は噴霧効果の検証として同部位をふき取る方法を用いたが、当所で算出した 2 回目ふきとり推定値よりも噴霧後の一般生菌数が有意に減少している結果となった。このことから牛枝肉への過酢酸製剤噴霧が殺菌効果を示したと言えるだろう。過酢酸製剤の殺菌効果は食鳥肉で認められているが、今回乳酸菌に対しても効果があると実証されたことで、今後と畜場での過酢酸製剤の使用が、苦情につながる可能性のある汚染を低減できると期待される。

一方、当所で年間を通して行っているふき取り検査において、最終洗浄を徹底した枝肉と過酢酸製剤を噴霧した枝肉を比較したところ、両者の一般生菌数に差がないことが明らかになっている。この結果から、通常の解体処理工程における衛生的な取り扱いが、殺菌剤の噴霧に匹敵する効果をもたらすことがわかる。それゆえ、細菌による枝肉汚染を減らすために、過酢酸製剤噴霧はあくまでも補助的なツールと考え、一般衛生管理の徹底が最も重要であると従事者全体が認識し実行することが必須である。

今後は過酢酸製剤の適切な使用量、使用方法の検討を含め、解体処理後の丁寧な枝肉洗浄など衛生管理の基本を、と畜従事者だけでなく出荷者、荷受業者などにも指導・助言を行い、スムーズな HACCP 導入へとつなげていきたい。

表2 牛枝肉における過酢酸噴霧前後の細菌数の変化

【胸部】 単位:cfu/cm<sup>2</sup>

検査日	一般生菌数			大腸菌群数		乳酸菌数	
	噴霧前	推定値※	噴霧後	噴霧前	噴霧後	噴霧前	噴霧後
8月5日	255	63.8	140	0	0.1	2	2.1
8月5日	4,230	524.5	232	1.3	0.1	3.3	2.8
9月9日	690	134.6	21	0.4	0	NT	NT
9月9日	260	64.7	7.4	15.8	1.2	NT	NT
9月9日	230	59.1	8.4	3.1	0	NT	NT
9月9日	36	14.7	7.2	0.1	0	NT	NT
9月9日	114	34.9	6.5	0.7	0	NT	NT
10月8日	670	131.7	19.9	0.2	0	4.8	0
10月8日	116	35.3	34	0.1	0	0.5	0.3
1月14日	66	23.2	2.1	0.1	0	0.2	0
1月14日	135	39.6	4.4	0	0	1.9	0
1月14日	69	23.9	4	0	0	5.4	0.2
1月14日	2,570	361.0	88	0.2	0.1	10.1	0.4
1月14日	330	77.4	4.5	0.1	0	2.1	0
1月14日	28	12.2	20.8	0	0	0.6	0
平均値 <sup>1)</sup>	226.2	58.3	14.9	1.47	0.10	3.09	0.58
標準偏差 <sup>2)</sup>	4.211	2.939	4.033	4.046	0.307	3.024	1.010

【肛門周囲部】

検査日	一般生菌数			大腸菌群数		乳酸菌数	
	噴霧前	推定値※	噴霧後	噴霧前	噴霧後	噴霧前	噴霧後
10月8日	340	79.2	13.8	0.2	0	2	0.3
10月21日	520	108.9	108	0	0	NT	NT
1月14日	3	2.3	0.9	0	0	0	0
1月14日	37	15.0	26.9	0.2	0.7	14.2	13.4
1月14日	29	12.5	5.9	0	0	0.1	0
1月14日	30	12.8	0.4	0	0	0.5	0
1月14日	51	19.1	0.5	0	0	0	0
1月14日	21	9.8	0.8	0.3	0	0.2	0
平均値 <sup>1)</sup>	45.5	17.5	3.7	0.09	0.09	2.43	1.96
標準偏差 <sup>2)</sup>	5.060	3.374	8.082	0.125	0.247	5.239	5.047

【胸腹部】

検査日	一般生菌数			大腸菌群数		乳酸菌数	
	噴霧前	推定値※	噴霧後	噴霧前	噴霧後	噴霧前	噴霧後
10月8日	440	96.1	40	0	0	0.3	0
10月8日	1,420	231.3	68	3.8	0	2.8	0
10月8日	77	26.0	2.7	0.1	0	0.3	0
平均値 <sup>1)</sup>	363.7	83.3	19.4	1.30	0.00	1.13	0.00
標準偏差 <sup>2)</sup>	4.335	3.004	5.640	2.166	0.00	1.443	0.00

1) 平均値 一般生菌数:幾何平均 大腸菌群数及び乳酸菌数:算術平均  
 2) 標準偏差 一般生菌数:幾何標準偏差 大腸菌群数及び乳酸菌数:標準偏差  
 NT:未実施

## と畜場で発生した豚コレラへの対応について

長野県松本食肉衛生検査所 ○大和真一、山川晋、久保田耕史

### 1 はじめに

平成 31 年 2 月、当所が管轄すると畜場内で係留中の豚における豚コレラの感染が発覚した。当所では、家畜防疫部局に協力し一連の防疫措置を行い、その後と畜場開設者等関係者ととも防疫対策等を行ってきた。

と畜場で発生した豚コレラへの対応について報告する。

### 2 発生の概要と経過

#### (1) 発生の概要

ア 疑似患畜確定日	平成 31 年 2 月 6 日
イ 疑似患畜頭数	と畜場 38 頭 (発生農場 2,444 頭)
ウ 防疫措置	殺処分 2 月 6 日から 7 日 汚染物品処理、施設等消毒 2 月 7 日から 8 日 防疫措置完了 2 月 8 日 17:00
エ 防疫作業動員	と畜場 102 名 発生農場 798 名 計 900 名

#### (2) 情報の探知

平成 31 年 2 月 5 日、14 時 20 分頃、長野県健康福祉部食品・生活衛生課（以下「本課」）より「長野県上伊那地方の農場が本日、愛知県の検査でペスチウイルス陽性となった農場から子豚を 80 頭導入し、当該子豚を搬送したトラックで 2 月 6 日と畜予定で出荷した 38 頭が、すでにと畜場に搬入済みである。については、直ちにと畜作業を停止すること。」という旨の連絡があった。

さらに、と畜場に係留されている豚について家畜保健衛生所（以下「家保」）が行う全頭検査の採血への協力と、当該農場の豚と同時に係留されていて接触の可能性のある豚の枝肉については流通せずに、冷蔵庫内に留め置くよう指示してほしいという連絡があった。

#### (3) 発生の経過

##### 2 月 5 日（火）

昼前 愛知県内の農場から当該農場へ子豚 80 頭が到着する。同じトラックを使用し、2 月 6 日にと畜予定の肥育豚 38 頭がと畜場へ搬入される。

11:50 愛知県から長野県農政部園芸畜産課（以下「園畜課」）に、発生疑い農場から長野県内の養豚場へ子豚が出荷されたとの連絡がある。

12:50 と畜場に当該農場の豚 38 頭が搬入される。

14：20 本課から松本食肉衛生検査所にと畜作業を停止するよう連絡があったが、と畜処理はほぼ終わっていた。

(枝肉 55 頭分はと畜場冷蔵庫、2 頭分は業者冷蔵庫に留め置くよう指示。)

15：00 家保がと畜場に到着し、38 頭の採血を開始する。(家保 2 名、食検 3 名)  
同時に、と畜場敷地内への車両出入りを制限し、消毒ポイントを設置する(家保 1 名、食検 2 名)。すでに搬入済みの牛 16 頭については、指示がでるまで係留所で飼育することとした。

## 2月6日(水)

8:00 当該農場 2,444 頭及びと畜場係留豚 38 頭について疑似患畜と決定される。

11：40 と畜場係留豚の殺処分を開始する(動員 28 名)(食検 4 名)。

13：20 38 頭の殺処分終了。死体と汚染物品(堆肥、敷料等)をフレコンバックに入れ敷地内に保管した。

## 2月7日(木)

12：30 汚染物品は焼却施設へ搬入し焼却処分、死体は発生農場に搬送後埋却処分を開始する。並行して施設の消毒を開始する。

17：25 疑似患畜と接触した可能性のある豚の枝肉について、農水省から流通可能との判断がだされ、流通(カット工場への搬送)が開始される。

## 2月8日(金)

午前 と畜場の消毒終了後、5 日から係留所に残っていた牛 16 頭をと畜処理する。

14：00 と畜解体作業の自粛が解除される。

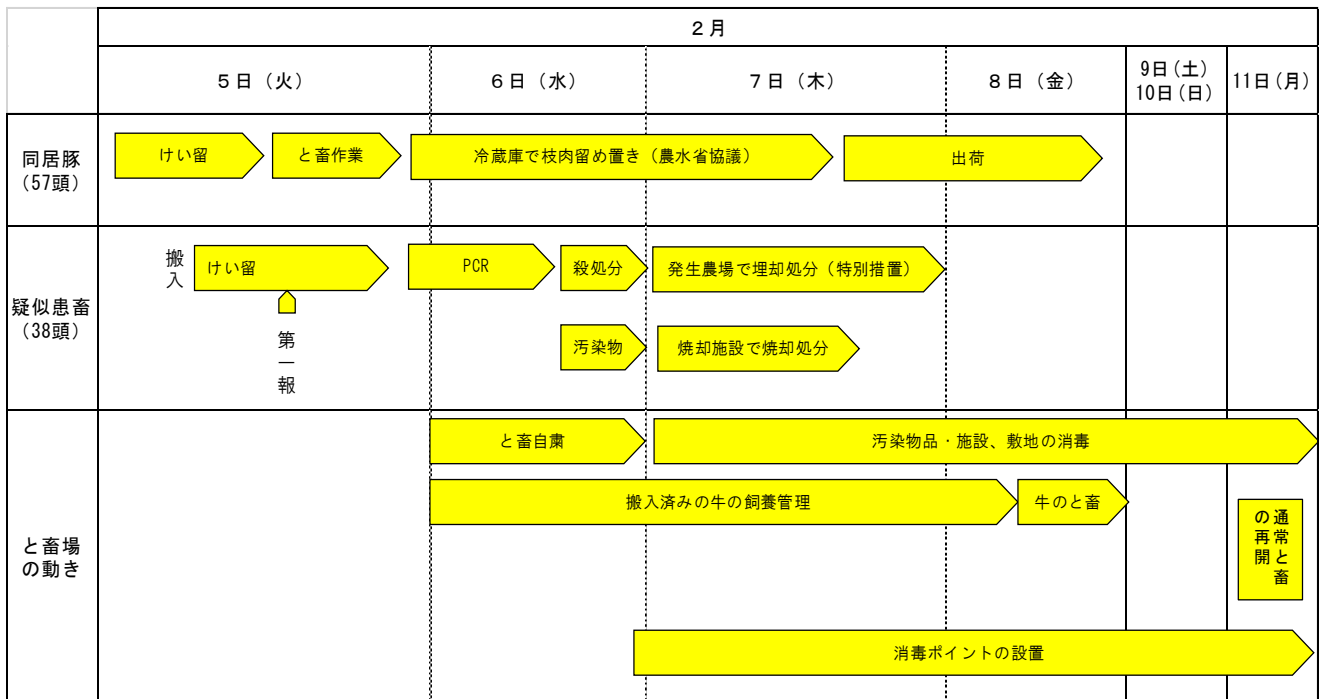
午後 と畜場の消毒終了後、消毒ポイントの縮小、規制解除。

## 2月11日(月)

通常のと畜業務を再開した。車両の消毒、作業終了後のと畜場施設内及び敷地の消毒については現在も継続中である。

## 2月21日(木)

発生農場とは別の養豚場から搬入された豚が高熱及び起立不能を呈していたため、と畜作業を中止するとともにすべての車両の出入りを禁止し、家保による ELISA 及び PCR 検査を実施する。陰性が確認され、通常業務を再開した。



#### (4) 牛のと畜について

2月5日に搬入済みの牛は、と畜再開の目途が立たないため、指示があるまでそのまま係留所で飼育することになり、出荷者が敷料、飲用の水、飼料を搬入した。

2月8日と畜処理を行った。3日間係留所で飼育した状態で、と畜検査では消化管系の炎症が多く見られたが、通常と異なる疾病等は確認されなかった。

### 3 消毒の概要

と畜場と同じ敷地には、関係会社の建物もあり、敷地及び各社へ出入りする車両等の消毒には注意を要したが、敷地の出入り口は1カ所のみであったため、車両消毒の場所については、設定しやすい部分もあった。

#### (1) 施設及び敷地の消毒

と畜場の施設及びと畜場エリアの敷地の消毒は、発生後2月8日の防疫措置終了までは家保が行い、その後はと畜場運営会社が継続して消毒作業を行っている。

毎日の作業終了後、敷地出入口に消石灰を散布するとともに、敷地及び施設内を動力噴霧機により逆性石けん液を噴霧し、現在も継続している。

#### (2) 車両等の消毒

ア 2月8日の防疫措置終了までは、と畜場エリアへの車両の出入は防疫措置関係者の車両のみで、敷地出入口に消石灰を散布するとともに、家保及び食検職員が車両消毒場所で逆性石けん液の噴霧による車両消毒を行った。

また、と畜場と同じ敷地内にある関連会社へ出入りする車両についても、同様の方法で消毒を行った。

なお、食検職員等の自家用車については、公園管理者の了解のもと敷地外の公園の駐車場に止めていた。

イ 防疫措置終了後は、車両消毒場所をと畜場建物の横に移動し、と畜場エリアに出入りする車両は家畜搬入車両以外の車両も含め消毒を行った。

平成31年3月末までは、監視員が張り付き、家畜車の車両及び運転手に対して入退場時の洗浄・消毒全般について指導・監視し、場合によっては消毒を行った。

一般車両、関係業者等の車両についても、退場時に特に下回りを重点に車両消毒を行った。

平成31年4月以降は、家畜車、一般車両ともに、運転者が消毒を行った。

令和元年6月にはと畜場運営会社が設置した一般車両用の踏み込み消毒槽が完成し、現在に至っている。

#### 4 食肉衛生検査所としての対応

食肉衛生検査所は、防疫措置が終了するまでの間は、防疫措置とと畜業務再開への対策を本課、家保、と畜場開設者等関係者と協議しながら実施した。

と畜業務再開後は、特に生体検査時に異常豚を発見した場合の対応を慎重に行うこと、また、と畜場から戻った時の前掛け、手指、長靴の消毒を徹底した。

検査所玄関には踏み込み消毒槽と手指消毒装置を設置し、来客等にも消毒するよう依頼した。

#### 5 まとめ

前例のないと畜場内での豚コレラ発生であった。基本的には家畜防疫の範囲と捕らえ、その時点ごとに本課、家保等と協議し、指示を仰ぎながら対策をとってきたが、以下の部分についてはさらに検討が必要だと思われる。

##### 課題1 情報の伝達及び共有体制の整備

家畜防疫部署との窓口や情報伝達ルートの本格化等を検討する必要がある。

##### 課題2 円滑かつ確実な防疫対策をとるためのと畜場施設及び敷地内の動線とゾーニングの検討。

防疫班員の着替え、消毒等を行う場所や、施設内の制限区域を決めておく必要がある

##### 課題3 防護服や消毒薬等防疫対策物品の食検内の備蓄量の検討。

消毒用薬剤等について食検でも備蓄の必要がある。

2月という、厳寒の非常に厳しい環境での防疫対策であった。

今後も、関係機関をはじめと畜場に関係する事業者等と連携、協力体制を維持するとともに、確実な疾病排除のための技術の研鑽につとめたい。

## 牛枝肉の切除法による腸内細菌科菌群検査について

松本食肉衛生検査所 ○宮入 美帆、半田 八重、山川 晋、久保田 耕史

### 1 はじめに

平成 30 年 6 月の食品衛生法等を改正する法律の施行により、すべての食品等事業者に、HACCP の考え方を取り入れた衛生管理の導入が求められている。中でも、と畜場においてはコーデックスの HACCP 7 原則に基づく衛生管理の導入が義務づけられた。

さらに、と畜場については、HACCP の実施状況についてと畜検査員による検査又は試験（外部検証）を受けることが規定された。

令和元年 8 月 30 日付けで厚生労働省からと畜場における HACCP の外部検証のためのプロトコール（案）が示された。これによると、従来食肉衛生検査所で行ってきた拭き取りによる衛生検査方法とは異なり、枝肉を切除することによる検体採材と新たに腸内細菌科菌群を対象とした検査を行うことになる。

そこで、牛枝肉の切除法での腸内細菌科菌群の検査を試行したので報告する。

### 2 材料及び方法

#### (1) 材料等

牛の枝肉（ホルスタイン、経産）：令和元年 10 月 21 日、管轄と畜場に通常搬入され、と畜当日に尿毒症として全部廃棄の措置が決定したもの。

検査器具等：サニスペックテストバック（ストマッカー袋）、ニッスイ拭き取り枠  $10 \times 10 \text{ cm}^2$ 、試験管型希釈水（滅菌リン酸緩衝生理食塩水）、ピペットチップ（ $100 \sim 1000 \mu\text{l}$ ）、マイクロピペット、3M EB プレート、滅菌済み 50ml 遠沈管、ストマッカー（バックミキサー MiniMix）、滅菌メスとピンセット、オートクレーブ、電子天秤

#### (2) 方法

と殺解体後に冷蔵庫に入って 1 時間経過した牛の枝肉から、 $10 \times 10 \text{ cm}^2$  の拭き取り枠を使用し、 $5 \times 5 \text{ cm}^2$  深さ 2 mm を目安に滅菌済みメスとピンセットを使用して、ともばら肉の部分を 1 か所切り取り検体とした。この時点では、令和元年度全国食肉衛生検査所協議会微生物部会で配布された、 $5 \times 5 \text{ cm}^2$  の枠がなかったため、普段拭き取り検査で使用している  $10 \times 10 \text{ cm}^2$  の枠（ニッスイ）を使用した。（図 1）





図1 切り取りの様子

切り取った表皮をそのままサニスペックテストバック（ストマッカー袋）に入れた後、すばやく検査室に運搬し、検査を行った。

（検査室における検査）

ア) ストマッカー袋ごと、電子天秤にのせて重さを測った。その後、あらかじめ計測しておいたストマッカー袋のみの重さを引いて、切り取った肉の重さを求めた。今回は 33 g であった。

イ) ストマッカー袋に滅菌リン酸緩衝生理食塩水 90ml を入れ、1 分間ストマッキングを行った（ストローク数 9 回/秒）。

ウ) ストマッキング後の液体をフィルター越しに、50ml の遠沈管に移し入れ、これを検体原液とした。

エ) 検体原液を滅菌リン酸緩衝生理食塩水で段階希釈し、10 倍希釈液と 100 倍希釈液を作成した。

オ) EB プレート<sup>※1</sup>（3M）に検体原液、10 倍希釈液、100 倍希釈液をそれぞれ 1 ml ずつ接種し、37℃で 24 時間培養した。（図 2）

※1 EB プレートの検出限界は 10 倍希釈の場合で 10CFU/g（メーカーデータ）

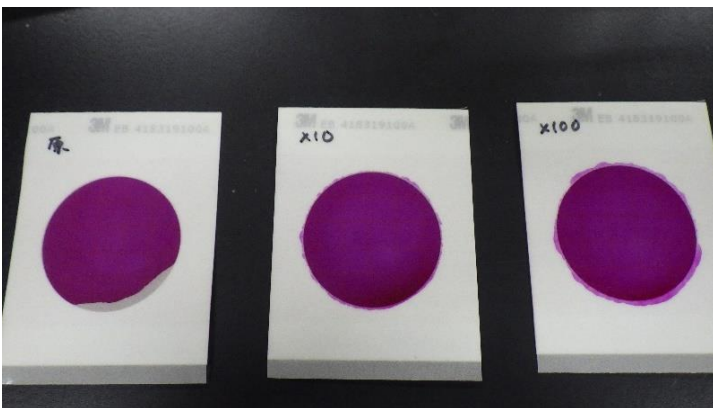


図2 EBプレート（3M）に接種

#### 4 結果

検査の結果、腸内細菌科菌群特有のコロニーは検出されなかった。と畜場衛生管理評価のためのペト

リフィルム法による衛生指標菌数の測定の資料に基づいて、最終表示である $\text{cm}^2$ への変換を行った。

1 ml あたりのコロニー数は 0、希釈液は 90ml 使用、切り取った検体重量 33 g とすると、1 検体中の菌数 $=0 \times (90+33) = 0$ となる。これを切り取った  $25 \text{ cm}^2$ で割って  $1 \text{ cm}^2$ あたりの菌数に変換した結果、 $0 \text{ CFU/cm}^2$ であった。

## 5 まとめ

今回、と畜検査員が行う外部検証のうち、新たに導入が検討されている微生物試験の方法として、枝肉からの切除法による採材と腸内細菌科菌群の検査の可否について試験的に検査を行ったが、EB プレートとストマッカー袋を購入すれば既存の検査機器等で十分に検査が行えることが確認できた。

しかし、今回の検査では、腸内細菌科菌群は検出されておらず、検査方法が適正であったかどうかの確認はできなかったことから、今後、拭き取り検体等を用いた腸内細菌科菌群の検査を行い、検出状況を確認していく必要がある。

また今回、切除法による微生物検査導入が検討されていることについて改めて業者に説明したところ、枝肉の一部を切除することに対する業者の抵抗が非常に強く、検査についての十分な理解は得られなかった。今回切除法の対象とした牛の枝肉は、尿毒症として全部廃棄措置が決定したものであったため、業者に趣旨を説明し採材を行うことができた。

現在、国において検討されている外部検証のためのプロトコール（案）の導入に際しては、関係業者等の理解が不可欠であり、今後国や県においての十分な説明の機会の確保が望まれる。

### 【参考資料】

- 1) と畜場 HACCP システムの妥当性検証試験 令和元年度 実施依頼プロトコール<牛・豚>
- 2) 食鳥処理場 HACCP システム妥当性評価試験法プロトコール（案）
- 3) と畜場衛生管理評価のためのペトリフィルム法による衛生指標菌数の測定<一般生菌数と腸内細菌科菌群数>

## 第 6 章 参 考 资 料

I と畜検査頭数の推移

単位：頭

年次	総数	牛		とく	馬	豚	めん羊	山羊
		肉用	乳用					
明治								
35	7,232	1,878			4,934	419	1	
39	9,153	1,503			7,428	220	2	
42	7,948	1,452			5,323	1,171	2	
大正								
1	10,528	2,718		11	6,703	1,096		
5	12,067	2,519		45	7,966	1,537		
6	13,973	2,117		20	10,087	1,747	2	
7	14,358	1,820		13	9,854	2,670	1	
8	13,344	1,758		13	7,098	4,474	1	
9	14,855	1,888		29	6,014	6,917	7	
10	16,870	2,092		70	6,665	8,040	3	
11	15,490	2,317		57	7,462	5,654		
12	16,300	2,240		70	8,276	5,702	12	
13	19,494	2,176		41	8,323	8,952	2	
14	23,370	2,109		61	8,950	12,249	1	
昭和								
1	20,189	2,424		112	8,681	8,968	4	
2	17,227	2,230		149	7,661	7,185	2	
3	20,053	2,112		156	8,136	9,646	3	
4	22,317	1,890		110	8,080	12,232	5	
5	17,738	1,586		124	6,778	9,248	2	
6	16,848	1,423		104	6,953	8,364	4	
7	18,860	1,309		82	6,020	11,448	1	
8	19,045	1,337		68	7,282	10,356	2	
9	17,252	1,181		43	6,831	9,192	5	
10	18,593	1,101		44	7,505	9,932	2	9
11	20,937	1,185		62	7,611	12,074	1	4
12	19,665	1,704		106	6,095	11,708	11	41
13	18,469	2,016		107	3,426	12,838	11	71
14	22,471	2,016		121	4,375	15,906	14	39
15	27,788	2,475		140	5,723	19,276	12	162
16	16,907	3,970		130	2,591	9,830	39	347
17	11,153	2,711		125	1,449	6,227	143	498
18	10,603	3,276		372	3,546	2,866	65	478
19	8,481	2,165		368	4,637	942	32	337
20	4,853	1,454		258	2,337	594	5	205
21	7,374	4,052		67	2,435	660	2	158
22	8,220	2,697		69	3,149	1,935	11	359
23	11,164	3,108		99	3,641	4,078	33	205
24	16,504	2,312		249	3,507	10,298	32	106
25	22,916	4,005		380	5,062	13,406	17	46

単位：頭

年次	総数	牛		とく	馬	豚	めん羊	山羊
		肉用	乳用					
26	28,349	3,278		708	5,612	12,545	204	6,002
27	45,779	2,604		956	6,563	25,963	774	8,919
28	48,104	2,989		227	5,632	31,161	959	7,136
29	45,225	3,445		1,939	6,827	23,531	789	8,694
30	44,606	5,167		3,203	6,206	22,565	1,016	6,449
31	55,966	5,556		3,432	6,945	29,322	2,126	8,585
32	73,295	3,134	1,623	4,282	5,647	38,220	5,684	14,705
33	86,611	2,662	1,940	5,455	4,983	44,349	6,394	20,828
34	104,886	2,720	2,560	5,625	5,449	53,712	10,675	24,145
35	101,891	2,616	3,868	6,115	5,791	43,292	12,205	28,004
36	117,609	2,402	1,584	6,371	5,956	60,937	11,225	29,134
37	155,049	2,300	1,467	7,394	5,886	105,033	5,228	27,741
38	158,756	3,587	2,670	9,198	6,935	106,688	2,971	26,707
39	169,249	3,811	3,277	10,523	7,417	114,605	1,391	28,225
40	211,220	3,447	2,747	8,950	6,108	161,415	1,088	27,465
41	266,292	1,923	1,952	4,496	3,318	225,160	754	28,689
42	290,407	1,248	1,939	3,882	3,219	234,408	542	45,169
43	257,864	1,012	2,353	5,501	4,301	205,818	426	38,453
44	258,491	1,186	2,699	10,146	5,029	201,047	246	38,138
45	291,539	1,606	2,753	8,081	5,020	239,688	295	34,096
46	301,667	1,946	2,434	3,135	4,449	262,924	323	26,456
47	301,420	2,387	2,793	1,059	3,267	267,328	240	24,346
48	318,661	1,450	3,012	585	2,204	292,926	16	18,468
49	345,251	1,460	4,574	4,179	2,186	322,512	25	10,315
50	326,796	1,955	3,911	1,536	2,544	310,529	22	6,299
51	317,215	1,986	3,503	882	3,012	306,406	48	1,378
52	368,879	2,218	4,646	1,267	2,818	356,883	36	1,011
53	390,668	2,559	5,722	832	1,795	378,724	70	966
54	414,201	2,416	6,819	669	1,234	402,478	140	445
55	422,207	1,946	9,077	689	986	409,145	174	190
56	402,629	1,799	11,413	660	820	387,576	199	162
57	418,851	1,973	12,200	618	809	402,783	341	127
58	416,181	1,953	12,540	532	847	399,750	458	101
59	404,931	1,924	13,431	534	844	387,485	598	115
60	430,319	2,488	14,094	377	823	411,645	791	101
61	411,823	2,895	13,451	325	745	393,416	932	59
62	387,212	2,941	15,518	223	494	366,779	1,074	183
63	355,812	2,989	15,193	169	383	336,031	1,018	29
平成								
元	337,350	3,428	13,324	144	330	318,948	1,157	19
2	329,066	4,023	12,540	140	300	310,771	1,260	32
3	312,596	4,894	11,937	113	294	294,144	1,194	20
4	292,816	5,708	11,405	116	318	274,461	795	13
5	281,828	6,129	11,977	101	464	262,417	714	26

単位：頭

年次	総数	牛		とく	馬	豚	めん羊	山羊
		肉用	乳用					
平成								
6	259,206	7,893	10,003	65	607	240,016	610	12
7	233,500	7,977	10,223	57	682	214,044	505	12
8	213,456	7,563	9,950	56	491	194,998	387	11
9	214,754	8,227	8,943	44	498	196,657	376	9
10	213,007	9,313	8,112	57	576	194,576	361	12
11	202,189	9,536	6,947	36	818	184,550	284	18
12	199,927	9,909	5,952	17	786	182,971	270	22
13	183,146	8,787	3,335	12	371	170,332	282	27
14	180,074	9,880	2,616	6	473	166,804	245	50
15	194,929	8,705	4,650	15	304	180,973	233	49
16	199,967	8,570	4,874	26	236	185,868	336	57
17	192,236	8,681	4,918	16	146	178,152	286	37
18	189,971	8,659	4,696	7	126	176,210	234	39
19	189,903	8,703	4,375	8	359	176,135	250	73
20	184,055	8,365	3,849	10	546	170,967	233	85
21	184,466	8,034	3,218	7	632	172,223	247	105
22	181,296	7,746	2,949	10	655	169,587	271	78
23	173,302	7,440	2,924	9	512	162,091	277	49
24	166,758	7,241	2,291	23	165	156,717	261	60
25	163,415	7,102	2,080	11	48	153,871	263	40
26	149,736	7,175	2,059	10	34	140,142	265	51
27	152,902	6,635	2,182	15	43	143,724	256	47
28	151,615	6,443	2,231	9	43	142,557	275	57
29	150,382	6,453	2,115	12	46	141,443	246	67
30	149,806	6,469	1,946	9	48	141,017	244	73
令和								
元	129,437	6,083	1,818	10	39	121,144	274	69

平成13年以降は年度

II 廃棄処分頭数（全部・一部）の推移

単位：頭

年次	総数		牛		とく		馬		豚		めん羊		山羊	
	全部	一部	全部	一部	全部	一部	全部	一部	全部	一部	全部	一部	全部	一部
昭和														
46	73	129,915	32	1,743	4	189	1	690	32	126,657		20	4	616
47	91	144,368	21	2,036	1	114	1	588	68	141,230		5		395
48	97	149,926	26	1,988	3	148		317	68	147,073		5		395
49	100	172,302	20	2,383	4	218		377	75	169,072		2	1	250
50	94	168,758	31	2,045	6	151		459	56	165,836		1	1	266
51	95	171,372	23	1,953	3	163		419	69	168,689		9		139
52	190	200,350	24	2,475	8	167	2	220	156	197,402				86
53	153	215,202	45	2,676	7	249		78	101	212,178				21
54	201	241,067	37	2,665	14	231	1	35	148	238,114			1	22
55	265	290,395	53	3,140	11	263		63	201	286,904		2		23
56	227	289,231	83	4,997	8	265		78	136	283,872		2		17
57	228	291,714	59	5,758	12	266		84	156	285,582	1	14		10
58	273	310,323	87	6,261	10	320		145	173	303,532		43	3	22
59	348	308,063	138	6,486	15	304	1	101	192	301,085	2	63		24
60	447	330,312	143	8,230	11	251	1	150	289	321,483	3	151		47
61	522	337,991	152	10,403	7	258		166	356	326,953	4	191	3	20
62	530	333,253	150	12,780	12	193		174	364	319,814	4	256		36
63	706	312,426	189	15,274	12	152		155	501	296,585	4	250		10
平成														
元	525	277,473	155	14,154	9	123	1	166	356	262,744	4	271		15
2	566	282,687	222	15,006	5	127		135	338	267,066	1	337		16
3	673	266,362	312	14,678	9	93		137	351	251,151	1	291		12
4	691	253,508	275	15,612	5	102	1	189	405	237,399	5	200		6
5	576	240,392	226	16,216	7	72		324	341	223,483	1	284	1	13
6	643	226,049	238	15,876	3	52	2	424	399	209,453	1	239		5
7	560	201,837	205	16,268	3	45	1	422	348	184,957	2	142	1	3
8	625	183,464	238	15,351	6	40		311	380	167,642	1	116		4
9	467	182,886	186	15,501	3	24	3	321	275	166,922		118		
10	510	174,636	233	15,826	1	42	3	462	272	158,215	1	84		7
11	459	166,370	242	15,491	1	22	4	769	211	150,001		83	1	4
12	455	174,844	199	15,130		14	2	756	254	158,846		87		11
13	358	160,381	103	11,718	1	10	1	340	253	148,249		57		7
14	213	153,503	50	11,927		5		406	163	141,102		49		14
15	486	154,281	230	12,288		14		238	256	141,666		60		15
16	368	160,238	159	12,439	2	19	2	170	205	147,524		75		11
17	360	153,486	134	12,685		15		72	225	140,681	1	31		2
18	324	156,129	99	12,259		6		73	225	143,742		45		4
19	298	156,912	100	12,139		8		246	197	144,462	1	55		2
20	256	152,108	77	11,412		9	1	437	178	140,201		38		11
21	390	168,545	66	10,740	1	5	1	522	321	157,203	1	48		27
22	426	157,089	103	10,085		9	1	538	320	146,391	2	46		20
23	406	146,533	109	9,786	1	6	1	413	295	136,279		39		10
24	220	141,077	78	9,097	2	16	3	141	137	131,772		34		17
25	252	138,829	80	8,684		10	1	41	171	130,038		50		6

単位：頭

年次	総数		牛		とく		馬		豚		めん羊		山羊	
	全部	一部	全部	一部	全部	一部	全部	一部	全部	一部	全部	一部	全部	一部
26	256	126,863	70	8,709		7		32	186	118,056		49		10
27	254	128,633	64	8,449		13		36	190	120,082		44		9
28	275	118,760	76	8,357	1	7		36	197	110,281	1	67		12
29	269	116,803	50	8,271		11	1	39	217	108,405	1	51		26
30	191	119,062	62	8,138		8		42	129	110,800		55		19
令和 元	186	105,014	46	7,698	1	8		33	138	97,191	1	59		25

平成13年以降は年度



### Ⅲ 長野県のと畜場統廃合整備のあゆみ

